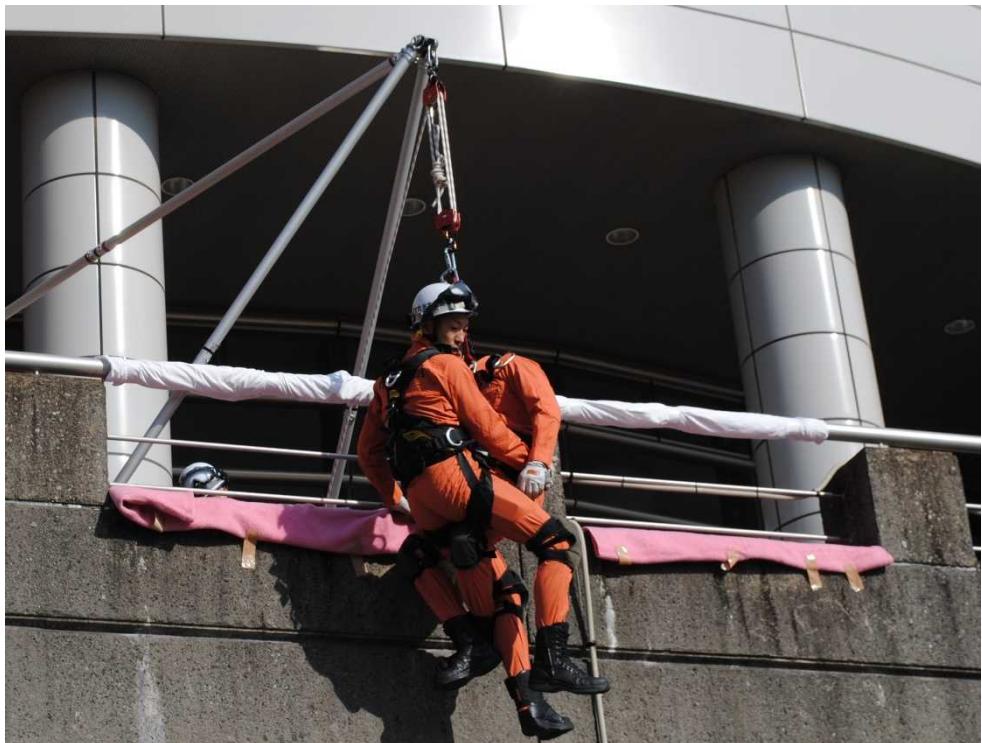


消防年報

令和4年

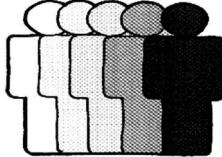
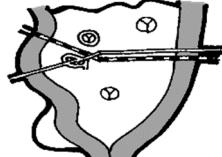


消防出初式における救助訓練

羽島市消防本部

令和5年刊行

一目でわかる羽島消防

人口  67, 040人	面積  53. 66km ²	世帯数  27, 592世帯
署所  1本部1署2分署	消防職員  81人	平均年齢  41. 7歳
防火対象物  2, 603棟	危険物施設  152施設	消防水利  消火栓 1, 112基 防火水槽 235基
火災  28件	救急  3, 051件	消防団員  400人

はじめに

この消防年報は、令和4年中の羽島市における主な消防事務と消防力の現勢を示す統計資料を収録し、今後の消防行政の資料にするとともに広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、本書中、予算関係事項は会計年度を調査対象としました。

また、表中の「-」、「」(空白)は該当数値がないもの又は皆無のものを、「0」は表章単位に満たないものを表しています。

令和5年3月



目 次

市 勢	1
消防のあゆみ	2
歴代管理者・消防長・消防署長・消防団長	12

消 防 情 勢

施設の現勢	14
消防機関の配置図	17
消防組織図	18
事務分掌	19
消防予算・消防予算の状況・消防費内訳表	21
一般会計予算に占める消防予算(当初)、消防費予算の推移、消防手当支給状況	22
消防職員等の配置状況	23
年齢別消防職員数	24
在職年数別消防職員数	25
5年間の消防職員等の推移、消防職員数の状況、消防職員等公務災害発生件数の推移	26
消防職員教養状況	27
消防職員の資格等保有状況	28
消防力の整備指針と現有消防力の比較	29
消防車両一覧表	30
消防水利の現況	31
消防相互応援協定	32
消防機関の出動状況	33

予 防 ・ 危 險 物

防火対象物現況・立入検査状況	34
用途別中高層建築物現況	35
用途別消防同意状況	36
工事別消防同意件数、構造別消防同意件数	37
用途地域別消防同意件数	38
火災予防に関する届出状況	39
危険物施設現況	40
危険物施設立入検査状況、危険物施設許可・完成検査等状況	41
消防訓練指導状況	42

火 災 統 計

火災の概要、火災の概況	43
四季別火災状況	44
月別火災状況	45
時間別火災状況、時間別火災件数	46
気象別火災状況	47
用途別月別火災状況、区域別火災状況	48
月別火災原因状況	49
年別火災状況	50
年別火災最大被害状況	51
過去10年間の火災による死傷者状況	52

救 急 統 計

救急活動の概要、事故種別救急出場件数・搬送人員、事故種別救急出場件数	53
月別救急出場件数、曜日別救急出場件数	54
時間別救急出場件数、高速道路救急出場件数	55
管轄別救急出場件数、区域別救急出場件数	56
5年間の救急状況、救命講習受講状況	57

救 助 統 計

救助活動概要、救助件数等状況、事故種別救助出動件数の割合	58
事故種別発生場所別活動件数、事故種別発生場所別救助人数	59
区域別出動件数、5年間の救助状況	60
救助活動のための機械器具等保有状況	61

通 信 ・ 気 象

通信指令施設	62
無線設備の現況、通信設備の現況	63
119番通報件数	64
救急医療情報活用状況、月別気象状況、月別雨量状況	65

消 防 団

消防団の現況、消防団現勢	66
消防団ポンプ等の配置図	67
消防団車両一覧表	68
年齢別消防団員数	69
在職年数別消防団員数	70
消防団員報酬、消防団員費用弁償、消防団員退職報償金	71
消防団員の職業別調、消防団員の入・退団の推移	72
消防団員公務災害発生件数の推移、消防団員出動状況	73

市勢

概況

位 置	東經 136° 42' 20" 北緯 35° 18' 58"				
海 拔	6. 96m				
広 裏	東西	8. 77km	南北	12. 86km	
面 積	53. 66Km ²				
人 口	67, 040人	(12月31日現在)			
世 帯 数	27, 592世帯	(12月31日現在)			
市 制 施 行 年 月 日	昭和29年4月1日				
消防本部設置年月日	昭和40年1月1日				



消防のあゆみ

- 昭和29年 4月 1日 羽島郡南部1町9村が合併した羽島市誕生に伴い消防団10団、団員853人をもって発足
- 昭和31年 4月 1日 消防団機構改革により、羽島市消防団1団10分団、団員539人に減員
初代 消防団長 春日井常吉氏就任
装備 消防ポンプ自動車 11台
小型動力ポンプ 15台
手引動力ポンプ 4台
- 昭和31年 4月 2日 三輪消防ポンプ自動車マツダ1台購入、小熊分団へ配備
- 昭和31年10月29日 消防ポンプ自動車トヨタ1台購入、竹鼻分団へ配備
- 昭和31年11月24日 三輪消防ポンプ自動車マツダ1台購入、下中分団へ配備
- 昭和33年11月28日 三輪消防ポンプ自動車1台購入、堀津分団へ配備
- 昭和35年10月 5日 三輪消防ポンプ自動車マツダ1台購入、福寿分団へ配備
- 昭和37年11月 1日 消防ポンプ自動車ニッサン1台購入、桑原分団へ配備
- 昭和37年11月30日 初代 消防団長 春日井常吉氏退任
- 昭和37年12月 1日 二代 消防団長 岡田幸逸氏就任
- 昭和38年 7月 1日 常備消防設立のため準備事務局を設置
- 昭和38年11月 1日 消防ポンプ自動車ニッサン1台購入
- 昭和39年 2月 1日 昭和39年政令第16号「消防本部及び消防署を置かなければならない市町村を定める等の政令」により指定を受ける
- 昭和39年 8月10日 常備消防職員7人採用
- 昭和39年11月30日 消防ポンプ自動車ニッサン1台購入、下中分団へ配備
- 昭和39年12月10日 水槽付消防ポンプ自動車ニッサン1台購入、市常備消防本部へ配備
- 昭和40年 1月 1日 市役所消防事務室ならびに車庫を仮庁舎として消防長以下11人をもって消防本部ならびに消防署発足
消防長 河村忠一市長兼任
消防職員定数35人
- 昭和40年 1月 9日 消防職員6人採用、合計17人
- 昭和40年 3月 竹鼻町55番地に消防庁舎建設着工
- 昭和40年 8月28日 消防庁舎竣工式
羽島ライオンズクラブから救急車ニッサンセドリック1台寄贈、救急業務開始
- 昭和42年 2月 4日 消防職員1人採用、合計18人
- 昭和42年 4月 1日 消防職員2人採用、合計20人
- 昭和42年 6月 1日 消防職員3人採用、合計23人

昭和42年 9月12日	消防ポンプ自動車ニッサン1台購入、消防署へ配備
昭和42年10月20日	消防ポンプ自動車ニッサン1台購入、小熊分団へ配備
昭和42年12月21日	消防職員1人死去、合計22人
昭和43年 4月 1日	消防職員4人採用、合計26人
昭和43年 7月 1日	消防職員3人採用、合計29人
昭和43年 7月27日	消防ポンプ自動車いすゞ1台購入、竹鼻分団へ配備
昭和43年 8月 5日	消防指揮車ニッサングロリア1台購入、消防署へ配備
昭和43年 9月 1日	消防ポンプ自動車ニッサン1台購入、上中分団へ配備
昭和44年 4月 1日	市連合婦人防火クラブ発足
昭和45年 3月31日	二代 消防団長 岡田幸逸氏退任
昭和45年 4月 1日	三代 消防団長 青山彦太郎氏就任
昭和45年 8月 5日	消防職員1人退職、合計28人
昭和45年 9月 1日	消防職員1人採用、合計29人
昭和45年 9月 4日	消防ポンプ自動車ニッサン1台購入、堀津分団へ配備
昭和45年 9月11日	消防ポンプ自動車ニッサン1台購入、竹鼻分団へ配備
昭和45年11月 1日	消防職員1人採用、合計30人
昭和46年 4月 7日	市危険物安全協会発足
昭和46年 6月 1日	消防職員1人採用、合計31人
昭和46年 7月 1日	消防職員1人退職、合計30人
昭和46年 7月25日	消防ポンプ自動車ニッサン1台購入、福寿分団へ配備
昭和46年12月25日	消防職員定数50人
昭和47年 4月 1日	消防職員2人採用、合計32人 消防団機構改革により羽島市消防団1団11分団、365人に減員
昭和47年 6月 2日	消防職員1人採用、合計33人
昭和47年 6月15日	消防職員1人退職、合計32人
昭和47年 9月 1日	消防職員1人採用、合計33人
昭和47年10月 1日	初代 消防長 大島庄一氏就任
昭和47年11月28日	水槽付消防ポンプ自動車いすゞ1台購入、消防署へ配備
昭和48年 1月10日	屈折はしご付消防ポンプ自動車(16m級)いすゞ1台購入、消防署へ配備
昭和48年 2月 1日	消防職員1人採用、合計34人
昭和48年 3月31日	初代 消防長 大島庄一氏退任、退職
昭和48年 4月 1日	消防職員3人採用、合計37人
昭和48年 4月18日	二代 消防長 太田万佐生氏就任
昭和48年 6月30日	消防職員1人退職、合計36人
昭和48年 9月10日	(財)日本消防協会から救急車トヨタハイエース1台寄贈、消防署へ配備
昭和48年10月11日	(社)日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車1台寄贈、消防署へ配備
昭和48年10月25日	竹鼻町1258番地に消防庁舎新築着工

昭和49年 3月30日 (社)日本損害保険協会から救急車ニッサンシビリアン1台寄贈、消防署へ配備

昭和49年 4月 1日 消防職員5人採用、合計41人

昭和49年 6月25日 消防庁舎竣工

昭和49年 6月30日 消防職員1人退職、合計40人

昭和49年 8月 1日 消防職員4人採用、合計44人

昭和49年12月10日 消防職員1人採用、合計45人

昭和50年 1月31日 消防職員1人退職、合計44人

昭和50年 3月19日 長良川病院から広報車コロナバン1台寄贈、消防署へ配備

昭和50年 3月31日 二代 消防長 太田万佐生氏退任、退職

昭和50年 7月 1日 三代 消防長 浅井建司氏就任
消防職員2人採用、合計46人

昭和50年 7月15日 消防職員1人採用、合計47人

昭和51年 3月31日 三代 消防団長 青山彦太郎氏退任

昭和51年 4月 1日 四代 消防団長 馬場弘一氏就任

昭和51年 7月31日 消防職員1人退職、合計46人

昭和51年 9月 1日 消防職員2人採用、合計48人

昭和51年 9月16日 消防職員1人採用、合計49人

昭和51年12月 2日 消防職員1人採用、合計50人

昭和52年 2月25日 消防ポンプ自動車ニッサン1台購入、消防署へ配備

昭和52年 3月 4日 消防職員1人退職、合計49人

昭和52年 3月26日 区画整理事業により消防本部の位置を竹鼻町丸の内9丁目26番地に改める

昭和52年 8月 1日 消防職員1人採用、合計50人

昭和52年10月30日 長谷虎紡績(株)から指揮車トヨタクラウンバン寄贈、消防署へ配備
消防ポンプ自動車ニッサン1台購入、桑原分団へ配備

昭和53年 1月20日 消防職員1人退職、合計49人

昭和53年 2月 1日 消防職員1人採用、合計50人

昭和53年 3月31日 四代 消防団長 馬場弘一氏退任

昭和53年 4月 1日 五代 消防団長 大橋実夫氏就任

昭和53年 9月24日 市消防友の会発足

昭和53年10月25日 消防ポンプ自動車ニッサン1台購入、江吉良分団へ配備

昭和54年 9月 4日 市防災行政無線設置

昭和54年10月20日 救助工作車ヒノ1台購入、消防署へ配備

昭和54年10月23日 市消防団らっぽ隊結成、隊員30人

昭和54年11月30日 消防ポンプ自動車ニッサン1台購入、竹鼻第二分団へ配備

昭和55年 4月 1日 人事異動により消防職員、合計49人

昭和55年11月11日 消防ポンプ自動車トヨタ1台購入、下中分団へ配備

昭和56年 3月23日 消防職員1人退職、合計48人

昭和56年 3月31日 三代 消防長 浅井建司氏退任、退職

昭和56年 4月 1日 四代 消防長 大橋数実氏就任

昭和56年 6月 1日 査察車スズキ1台購入、消防署へ配備

昭和56年 9月29日 消防職員定数66人

昭和56年11月10日 消防ポンプ自動車トヨタ2台購入、足近分団、正木分団へ配備

昭和56年12月 3日 消防職員1人死去、合計47人

昭和56年12月23日 化学消防ポンプ自動車ヒノ1台購入、消防署へ配備

昭和57年 4月 1日 消防職員5人採用、合計52人
市少年婦人防火委員会発足

昭和57年 7月15日 小型動力ポンプ積載車1台購入、消防署へ配備

昭和57年 8月 8日 第31回岐阜県消防操法大会、市消防団優勝

昭和57年 8月 9日 (財)日本消防協会から救急車ニッサンキャラバン1台寄贈、消防署へ配備

昭和57年 8月23日 (財)日本消防協会から婦人消防隊軽可搬ポンプ1台寄贈

昭和57年10月14日 消防ポンプ自動車トヨタ1台購入、小熊分団へ配備

昭和57年11月29日 水槽付消防ポンプ自動車ヒノ1台購入、消防署へ配備

昭和58年 1月26日 消防職員1人死去、合計51人

昭和58年 3月31日 五代 消防団長 大橋実夫氏退任

昭和58年 4月 1日 六代 消防団長 大島喜三郎氏就任
羽島消防署分署、分署長以下9人をもって発足
羽島市消防救助隊設置
羽島消防署長補佐(財)日本消防協会、2年研修派遣
消防職員4人採用、人事異動により、合計57人

昭和58年 7月30日 岐阜乗合自動車(株)から救急車ニッサンキャラバン1台寄贈、消防署へ配備

昭和58年 8月 5日 指揮車トヨタクラウンバン1台購入、分署へ配備

昭和58年 8月10日 羽島市消防友の会旗制定

昭和58年10月26日 消防ポンプ自動車トヨタ1台購入、上中分団へ配備

昭和58年10月28日 (社)日本損害保険協会から消防ポンプ自動車トヨタ1台寄贈、分署へ配備

昭和58年11月18日 消防ポンプ自動車トヨタ1台購入、消防署へ配備
現場指揮車製作、消防署へ配備

昭和59年 3月31日 消防職員1人退職、合計56人

昭和59年 4月 1日 消防職員3人採用、合計59人

昭和59年 8月23日 (財)日本消防協会から電源照明用資器材搬送車ニッサン1台寄贈、消防署へ配備

昭和59年10月23日 消防ポンプ自動車2台購入、竹鼻第一分団、堀津分団へ配備

昭和59年12月 6日 (財)日本防火協会から防火広報車トヨタ1台寄贈、消防署へ配備

昭和60年 3月31日 四代 消防長 大橋数実氏退任、退職

六代 消防団長 大島喜三郎氏退任
昭和60年 4月 1日 五代 消防長 岩田秀一氏就任
七代 消防団長 安藤栄吉氏就任
消防職員3人採用、人事異動により、合計60人
昭和60年10月12日 消防ポンプ自動車ニッサン2台購入、竹鼻第一分団、福寿分団へ配備
昭和60年11月 5日 水槽付消防ポンプ自動車ヒノ1台購入、消防署へ配備
昭和61年 3月31日 消防職員3人退職、合計57人
昭和61年 4月 1日 消防職員3人採用、合計60人
昭和61年 6月19日 日興製薬(株)から広報車ニッサンブルーバードバン1台寄贈、消防署へ配備
昭和61年 6月30日 救助隊潜水班設置
昭和62年 2月26日 防火指導車トヨタ1台購入、消防署へ配備
昭和62年 3月17日 救急自動車トヨタハイエース1台購入、消防署へ配備
昭和62年 3月31日 消防職員3人退職、合計57人
七代 消防団長 安藤栄吉氏退任
昭和62年 4月 1日 消防職員3人採用、合計60人
八代 消防団長 薮野芳治氏就任
昭和63年 4月 1日 消防職員3人採用、合計63人
昭和63年11月28日 救助資器材一式購入
平成元年 3月31日 消防職員1人退職、合計62人
平成元年 4月 1日 消防職員2人採用、合計64人
平成元年 7月24日 消防職員1人死去、合計63人
平成 2年 3月31日 消防職員1人退職、合計62人
平成 2年 7月10日 消防職員1人退職、合計61人
平成 2年10月16日 消防職員1人市施設事業公社市民プールへ派遣、合計60人
平成 3年 2月28日 小型動力ポンプ付積載車購入、桑原分団へ配備
平成 3年 4月 1日 消防職員4人採用、合計64人
平成 3年 7月24日 小型動力ポンプ付積載車購入、正木分団へ配備
平成 4年 3月31日 五代 消防長 岩田秀一氏退任、退職
八代 消防団長 薮野芳治氏退任
平成 4年 4月 1日 六代 消防長 棚瀬博氏就任
九代 消防団長 馬場弘三氏就任
消防職員3人採用、人事異動により、合計66人
平成 4年 9月 2日 小型動力ポンプ付積載車1台購入、福寿分団へ配備
平成 5年 3月31日 消防職員1人退職、合計65人
平成 5年 4月 1日 消防職員定数85人
消防職員4人採用、人事異動により、合計69人
平成 5年 8月31日 消防職員1人退職、合計68人

平成 5年 9月11日 小型動力ポンプ付積載車1台購入、小熊分団へ配備
小型動力ポンプ付積載車2台購入、竹鼻第二分団、上中分団へ配備

平成 5年11月10日 はしご付消防ポンプ自動車(35m級)1台購入、消防署へ配備

平成 5年12月31日 指揮車ダイハツミラ1台購入、分署へ配備

平成 6年 2月24日 現場指揮車1台購入、消防署へ配備

平成 6年 3月31日 九代 消防団長 馬場弘三氏退任

平成 6年 4月 1日 十代 消防団長 安井善保氏就任
消防職員4人採用、人事異動により、合計73人

平成 6年 4月30日 消防職員1人退職、合計72人

平成 6年 8月26日 羽島市消防本部旗制定

平成 6年 9月 5日 小型動力ポンプ付積載車2台購入、足近分団、下中分団へ配備

平成 6年11月16日 高規格救急自動車1台購入、消防署へ配備

平成 6年12月15日 小型動力ポンプ付積載車2台購入、江吉良分団、堀津分団へ配備

平成 6年12月20日 (財)日本消防協会から2B救急車1台寄贈、分署へ配備

平成 7年 1月 8日 高規格救急自動車運用開始

平成 7年 1月17日 阪神・淡路大震災に消防隊を派遣

平成 7年 3月31日 六代 消防長 棚瀬博氏退任、退職
消防職員1人退職、合計70人

平成 7年 4月 1日 七代 消防長 吉澤壽氏就任
消防職員8人採用、合計79人

平成 7年10月16日 (社)日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車1台寄贈

平成 7年10月28日 消防ポンプ自動車1台購入、桑原分団へ配備

平成 7年11月15日 救助工作車1台購入、消防署へ配備

平成 8年 3月31日 七代 消防長 吉澤壽氏退任

平成 8年 4月 1日 八代 消防長 柴田正也氏就任
消防職員5人採用、合計84人

羽島消防署北分署、分署長以下13人をもって発足
羽島消防署分署の名称を羽島消防署南分署とする

平成 8年 7月10日 指揮広報車スズキアルト1台購入、北分署へ配備

平成 8年10月22日 消防ポンプ自動車2台購入、消防署、江吉良分団へ配備

平成 8年12月11日 指揮車ブルーバード1台購入、消防署へ配備

平成 9年 3月31日 消防職員1人退職、合計83人

平成 9年10月28日 水槽付消防ポンプ自動車1台購入、消防署南分署へ配備
消防ポンプ自動車1台購入、竹鼻第二分団へ配備

平成10年 3月31日 八代 消防長 柴田正也氏退任、退職

平成10年 4月 1日 九代 消防長 番則良氏就任
消防職員2人採用、人事異動・人事交流により、合計85人

平成10年 6月23日 消防ポンプ自動車1台購入、下中分団へ配備
平成10年 8月 3日 防火指導車トヨタカルディナ1台購入、消防署へ配備
平成11年 3月31日 九代 消防長 番則良氏退任、退職
十代 消防団長 安井善保氏退任
平成11年 4月 1日 十代 消防長 岩田隆雄氏就任
十一代 消防団長 岩田浩氏就任
平成11年11月29日 2B救急車1台購入、消防署北分署へ配備
平成12年 1月28日 消防ポンプ自動車2台購入、足近分団、正木分団へ配備
平成12年 4月13日 消防緊急通信指令施設(更新)運用開始
平成12年 6月19日 広報車ニッサンエキスパート1台購入、消防署へ配備
平成12年12月 8日 消防ポンプ自動車1台購入、小熊分団へ配備
平成13年 2月 8日 水槽付消防ポンプ自動車1台購入、消防署へ配備
平成13年 3月31日 十一代 消防団長 岩田浩氏退任
消防職員1人退職、合計83人
平成13年 4月 1日 十二代 消防団長 大野木真氏就任
消防職員1人採用、人事異動・人事交流により、合計84人。
平成13年 8月24日 羽島市危険物安全協会から査察車三菱ミニキャブバン寄贈、消防署へ配備
平成13年11月18日 消防ポンプ自動車1台購入、上中分団へ配備
平成14年 2月12日 化学消防自動車1台購入、消防署へ配備
平成14年 3月31日 消防職員1人退職、合計83人
平成14年 4月 1日 消防職員2人採用、合計85人
平成14年 9月13日 消防ポンプ自動車2台購入、竹鼻第一分団、堀津分団へ配備
平成14年10月31日 消防職員1人退職、合計84人
平成15年 7月11日 消防職員1人退職、合計83人
平成15年 9月14日 消防ポンプ自動車2台購入、竹鼻第一分団、福寿分団へ配備
平成16年 3月31日 十代 消防長 岩田隆雄氏退任、退職
消防職員2人退職、合計80人
平成16年 4月 1日 十一代 消防長 加藤清利氏就任
消防職員4人採用、人事異動により、合計83人
平成17年 3月 8日 災害対応特殊救急自動車1台購入、消防署へ配備
平成17年 3月31日 消防職員1人退職、合計82人
平成17年 7月28日 資機材搬送自動車1台購入、消防署へ配備
平成17年 7月31日 消防職員1人退職、合計81人
平成18年 3月27日 消防職員1人退職、合計80人
平成18年 4月 1日 消防職員1人採用、合計81人
平成19年 4月 1日 消防職員4人採用、合計85人
平成19年 8月29日 電源照明白動車1台購入、消防署へ配備

平成20年 3月31日 十一代 消防長 加藤清利氏退任、退職
消防職員5人退職、合計80人

平成20年 4月 1日 十二代 消防長 小池一郎氏就任
消防職員3人採用、合計83人

平成20年12月18日 高規格救急自動車1台購入、南分署へ配備

平成21年 1月30日 消防職員1人死去、合計82人

平成21年 3月31日 十二代 消防長 小池一郎氏退任、退職
消防職員3人退職、合計79人

平成21年 4月 1日 消防長 大野隆弘副市長兼任
消防職員3人採用、人事異動により、合計81人

平成21年 7月24日 防火広報車1台購入、消防署へ配備

平成21年10月22日 第19回全国女性消防操法大会において羽島市女性消防隊が優勝

平成21年12月24日 指揮車1台購入、南分署へ配備

平成22年 3月19日 小型動力ポンプ付積載車2台購入、正木分団、桑原分団へ配備

平成22年 3月31日 消防職員3人退職、合計78人

平成22年 4月 1日 十三代 消防長 大橋照男氏就任
消防職員4人採用、合計82人
総務省消防庁から消防団救助資機材搭載型車両(多機能車)1台貸与、正木分団へ配備

平成22年 4月 8日 消防職員1人退職、合計81人

平成23年 3月11日 東日本大震災に緊急消防援助隊を派遣

平成23年 3月31日 十三代 消防長 大橋照男氏退任、退職
消防職員1人退職、合計80人
十二代 消防団長 大野木真氏退任

平成23年 4月 1日 十四代 消防長 古澤國昭氏就任
消防職員3人採用、合計83人
十三代 消防団長 藤本恵司氏就任

平成23年 4月16日 消防職員1人死去、合計82人

平成23年 6月 8日 羽島市危険物安全協会から査察車ダイハツハイゼット寄贈、消防署へ配備

平成24年 2月22日 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車1台購入、北分署へ配備

平成24年 3月31日 消防職員2人退職、合計80人

平成24年 4月 1日 消防職員4人採用、合計84人

平成24年 8月 5日 「消防感謝祭」第61回岐阜県消防操法大会(開催地:羽島市)
市消防団B優勝、市消防団A 3位

平成25年 2月 4日 消防職員1人死去、合計83人

平成25年 2月20日 一般社団法人 日本損害保険協会から小型動力ポンプ付積載車1台寄贈
上中分団へ配備

	小型動力ポンプ付積載車1台購入、福寿分団へ配備
平成25年 3月31日	十四代 消防長 古澤國昭氏退任、退職 消防職員3人退職、合計80人
平成25年 4月 1日	十五代 消防長 日比野典康氏就任 消防職員3人採用、合計83人 消防救急デジタル無線システム運用開始
平成25年 9月30日	消防職員1人退職、合計82人
平成26年 1月24日	小型動力ポンプ付積載車2台購入、小熊分団、竹鼻第二分団へ配備
平成26年 2月25日	高規格救急自動車1台購入、北分署へ配備
平成26年 3月31日	消防職員2人退職、合計80人
平成26年 4月 1日	消防職員3人採用、合計83人
平成26年12月17日	消防ポンプ自動車1台購入、消防署へ配備
平成27年 1月 1日	条例改正により機能別消防団員15人増員、定員380人
平成27年 3月31日	消防職員1人退職、合計82人
平成27年 4月 1日	消防職員1人採用、合計83人 条例改正により基本消防団員40人増員、定員420人
平成27年 4月30日	消防職員1人退職、合計82人
平成28年 3月16日	高機能消防指令システム運用開始
平成28年 3月31日	十五代 消防長 日比野典康氏退任、退職 消防職員2人退職、合計80人
平成28年 4月 1日	十六代 消防長 渡邊勝美氏就任 消防職員3人採用、合計83人
平成28年11月28日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車1台購入、南分署へ配備
平成29年 3月25日	消防ポンプ自動車2台購入、竹鼻第二分団、桑原分団へ配備
平成29年 3月31日	消防職員1人退職、合計82人
平成29年 4月 1日	消防本部消防総務課係長(財)日本消防協会、1年研修派遣 消防職員2人採用、合計84人
平成29年 6月30日	消防職員1人退職、合計83人
平成29年 9月29日	日興製薬株式会社から連絡車ヴィッツ寄贈、消防署へ配備
平成29年12月19日	公益財団法人 日本消防協会から防災活動車フォレスター寄贈、消防署へ配備
平成29年12月25日	救助工作車1台購入、消防署へ配備
平成30年 3月31日	十六代 消防長 渡邊勝美氏退任、退職 消防職員2人退職、合計81人
平成30年 4月 1日	十七代 消防長 青木茂生氏就任 消防職員2人採用、合計83人
平成30年 6月30日	消防職員1人退職、合計82人
平成30年12月20日	小型動力ポンプ付普通積載車1台購入、江吉良分団へ配備

小型動力ポンプ付軽積載車2台購入、足近分団、江吉良分団へ配備
平成30年12月25日 災害対応特殊救急自動車1台購入、消防署へ配備
平成31年 4月 1日 消防職員2人採用、合計84人
令和元年12月20日 小型動力ポンプ付普通積載車1台購入、下中分団へ配備
小型動力ポンプ付軽積載車2台購入、堀津分団、下中分団へ配備
令和 2年 3月31日 消防職員1人退職、合計83人
十三代 消防団長 藤本恵司氏退任
令和 2年 4月 1日 十四代 消防団長 泉徳行氏就任
令和 2年 6月30日 消防職員1人退職、合計82人
令和 2年12月27日 消防ポンプ自動車1台購入、正木分団へ配備
令和 3年 3月31日 消防職員4人退職、合計78人
令和 3年 4月 1日 消防職員2人採用、合計80人
令和 3年 7月31日 消防職員1人退職、合計79人
令和 3年12月25日 高規格救急自動車1台購入、消防署へ配備
令和 3年12月31日 消防職員2人退職、合計77人
令和 4年 1月31日 消防職員1人退職、合計76人
令和 4年 3月31日 十七代 消防長 青木茂生氏退任、市長室危機管理課出向
消防職員1人退職、合計75人
令和 4年 4月 1日 十八代 消防長 奥田豊氏就任
消防職員6人採用、合計81人

歴代管理者・消防長・消防署長・消防団長

管理者

初代	河村 忠一	昭和40年 1月 1日 ~ 昭和53年 4月24日
二代	國枝 金市	昭和53年 4月25日 ~ 昭和55年11月 1日
三代	酒井 忠好	昭和55年12月21日 ~ 昭和63年12月20日
四代	岩田 博正	昭和63年12月21日 ~ 平成 8年12月20日
五代	吉田 三郎	平成 8年12月21日 ~ 平成16年12月20日
六代	白木 義春	平成16年12月21日 ~ 平成24年12月20日
七代	松井 聰	平成24年12月21日 ~ 現在に至る

消防長

市長兼務	河村 忠一	昭和40年 1月 1日 ~ 昭和47年 9月30日
初代	大島 庄一	昭和47年10月 1日 ~ 昭和48年 3月31日
助役兼務	上野 幸一	昭和48年 4月 1日 ~ 昭和48年 4月17日
二代	太田 万佐生	昭和48年 4月18日 ~ 昭和50年 3月31日
助役兼務	上野 幸一	昭和50年 4月 1日 ~ 昭和50年 6月30日
三代	浅井 建司	昭和50年 7月 1日 ~ 昭和56年 3月31日
四代	大橋 数実	昭和56年 4月 1日 ~ 昭和60年 3月31日
五代	岩田 秀一	昭和60年 4月 1日 ~ 平成 4年 3月31日
六代	棚瀬 博	平成 4年 4月 1日 ~ 平成 7年 3月31日
七代	吉澤 壽	平成 7年 4月 1日 ~ 平成 8年 3月31日
八代	柴田 正也	平成 8年 4月 1日 ~ 平成10年 3月31日
九代	番 則 良	平成10年 4月 1日 ~ 平成11年 3月31日
十代	岩田 隆雄	平成11年 4月 1日 ~ 平成16年 3月31日
十一代	加藤 清利	平成16年 4月 1日 ~ 平成20年 3月31日
十二代	小池 一郎	平成20年 4月 1日 ~ 平成21年 3月31日
副市長兼務	大野 隆弘	平成21年 4月 1日 ~ 平成22年 3月31日
十三代	大橋 照男	平成22年 4月 1日 ~ 平成23年 3月31日
十四代	古澤 國昭	平成23年 4月 1日 ~ 平成25年 3月31日
十五代	日比野 典康	平成25年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日
十六代	渡邊 勝美	平成28年 4月 1日 ~ 平成30年 3月31日
十七代	青木 茂生	平成30年 4月 1日 ~ 令和 4年 3月31日
十八代	奥田 豊	令和 4年 4月 1日 ~ 現在に至る

消防署長

初代	浅井 建司	昭和40年 1月 1日 ~ 昭和41年 6月30日
二代	渡辺 良雄	昭和41年 7月 1日 ~ 昭和42年12月21日
三代(次長兼務)	大島 庄一	昭和42年12月22日 ~ 昭和43年 4月 5日
四代	番 善秀	昭和43年 4月 6日 ~ 昭和48年 4月17日

五代	戸谷 芳一	昭和48年 4月18日 ~ 昭和51年 5月 9日
六代	北尾 純市	昭和51年 5月10日 ~ 昭和53年 5月24日
七代	杉山 芳夫	昭和53年 5月25日 ~ 昭和56年 3月31日
八代	棚瀬 博	昭和56年 4月 1日 ~ 昭和58年 3月31日
九代	武田 富士三	昭和58年 4月 1日 ~ 昭和62年 3月31日
十代	岩田 隆雄	昭和62年 4月 1日 ~ 平成 9年 3月31日
十一代	坂倉 悟	平成 9年 4月 1日 ~ 平成13年 3月31日
十二代	斎藤 富治	平成13年 4月 1日 ~ 平成14年 3月31日
十三代	小池 一郎	平成14年 4月 1日 ~ 平成16年 3月31日
十四代	浅井 廣志	平成16年 4月 1日 ~ 平成20年 3月31日
次長兼務	浅井 廣志	平成20年 4月 1日 ~ 平成21年 3月31日
十五代	大橋 照男	平成21年 4月 1日 ~ 平成22年 3月31日
十六代	古澤 國昭	平成22年 4月 1日 ~ 平成23年 3月31日
十七代	水野 秀治	平成23年 4月 1日 ~ 平成24年 3月31日
十八代(次長兼務)	大塚 一芳	平成24年 4月 1日 ~ 平成25年 3月31日
十九代	北川 順淨	平成25年 4月 1日 ~ 平成26年 3月31日
二十代	奥田 弘	平成26年 4月 1日 ~ 平成30年 3月31日
次長兼務	奥田 弘	平成30年 4月 1日 ~ 平成31年 3月31日
二十一代	奥田 豊	平成31年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月31日
次長兼務	奥田 豊	令和 2年 4月 1日 ~ 令和 4年 3月31日
二十二代(次長兼務)	森 直弘	令和 4年 4月 1日 ~ 現在に至る

消防団長

初代	春日井 常吉	昭和31年 4月 1日 ~ 昭和37年11月30日
二代	岡田 幸逸	昭和37年12月 1日 ~ 昭和45年 3月31日
三代	青山 彦太郎	昭和45年 4月 1日 ~ 昭和51年 3月31日
四代	馬場 弘一	昭和51年 4月 1日 ~ 昭和53年 3月31日
五代	大橋 実夫	昭和53年 4月 1日 ~ 昭和58年 3月31日
六代	大島 喜三郎	昭和58年 4月 1日 ~ 昭和60年 3月31日
七代	安藤 栄吉	昭和60年 4月 1日 ~ 昭和62年 3月31日
八代	薮野 芳治	昭和62年 4月 1日 ~ 平成 4年 3月31日
九代	馬場 弘三	平成 4年 4月 1日 ~ 平成 6年 3月31日
十代	安井 善保	平成 6年 4月 1日 ~ 平成11年 3月31日
十一代	岩田 浩	平成11年 4月 1日 ~ 平成13年 3月31日
十二代	大野木 真	平成13年 4月 1日 ~ 平成23年 3月31日
十三代	藤本 恵司	平成23年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月31日
十四代	泉 徳行	令和 2年 4月 1日 ~ 現在に至る

消防情勢



羽島市消防職員意見発表会

(令和5年1月開催)

施設の現勢



羽島市消防本部・羽島消防署

位 置	羽島市竹鼻町丸の内9丁目26番地
敷 地 面 積	2,232.73m ²
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート 一部鉄骨造2階建
建 築 面 積	1,039.69m ²
延 面 積	1,850.26m ²
1 階	735.23m ²
2 階	816.46m ²
救助訓練塔	101.97m ²
ベランダ	196.60m ²
建築年月日	昭和49年6月25日 ※平成26年3月 消防庁舎耐震補強・改修工事



羽島消防署北分署

位 置	羽島市正木町須賀本村10番地1
敷 地 面 積	1,686.00m ²
構 造	鉄筋コンクリート造2階建（管理棟） 鉄骨ALC造平屋建（車庫棟） 鉄骨ALC造2階建（副 塔）
建 築 面 積	502.94m ²
延 面 積	759.90m ²
管 理 棟	492.69m ²
車 庫 棟	215.00m ²
副 塔	52.21m ²
建 築 年 月 日	平成8年2月25日



羽島消防署南分署

位 置	羽島市下中町石田1357番地3
敷 地 面 積	1,501.18m ²
構 造	鉄筋コンクリート造2階建
建 築 面 積	474.23m ²
延 面 積	560.72m ²
1 階	380.88m ²
2 階	179.84m ²
建 築 年 月 日	昭和58年3月15日

消防機関の配置図



小熊分団本部

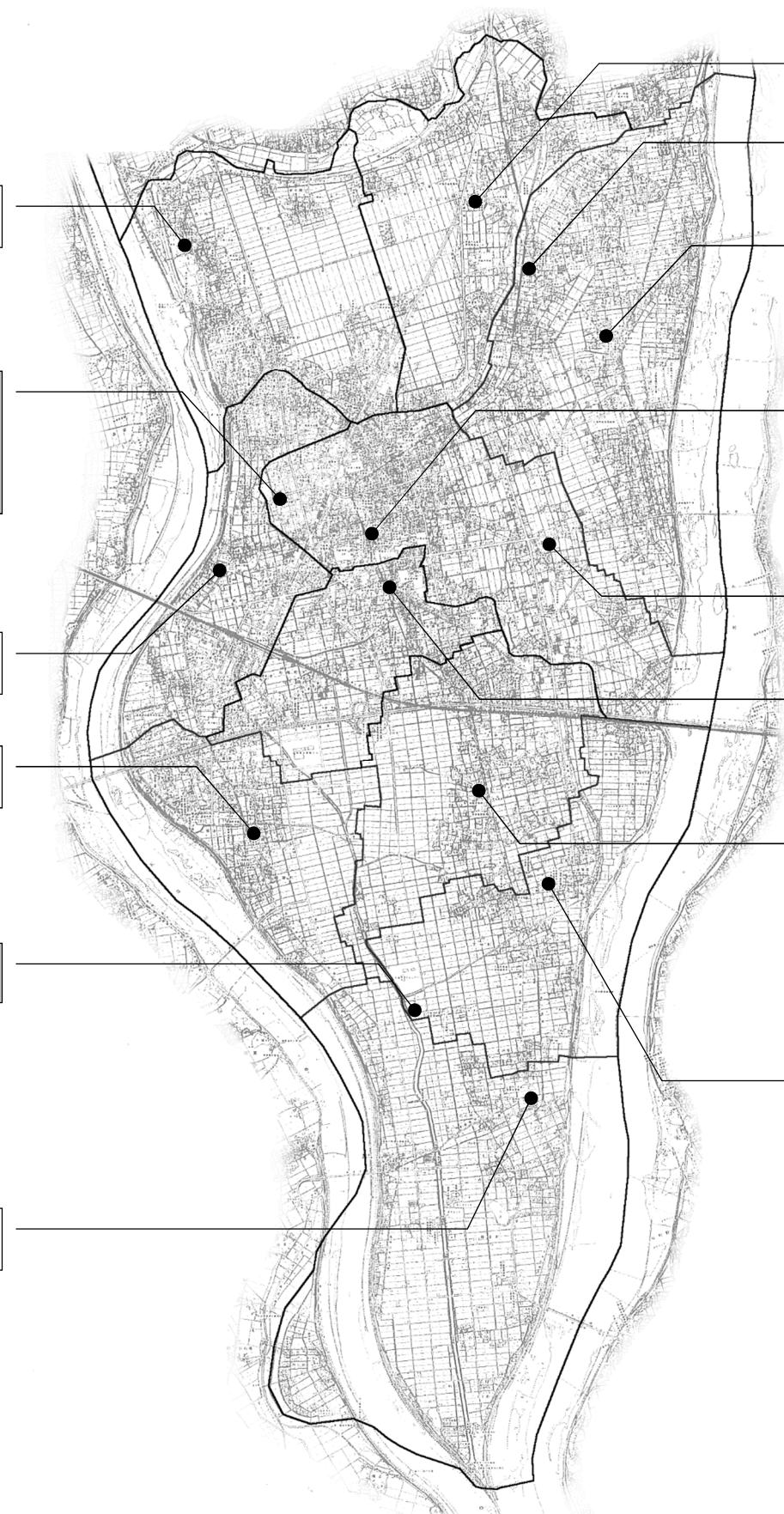
消防本部
消防署
団本部

福寿分団本部

堀津分団本部

南分署

桑原分団本部



足近分団本部

北分署

正木分団本部

竹鼻第一分団本部

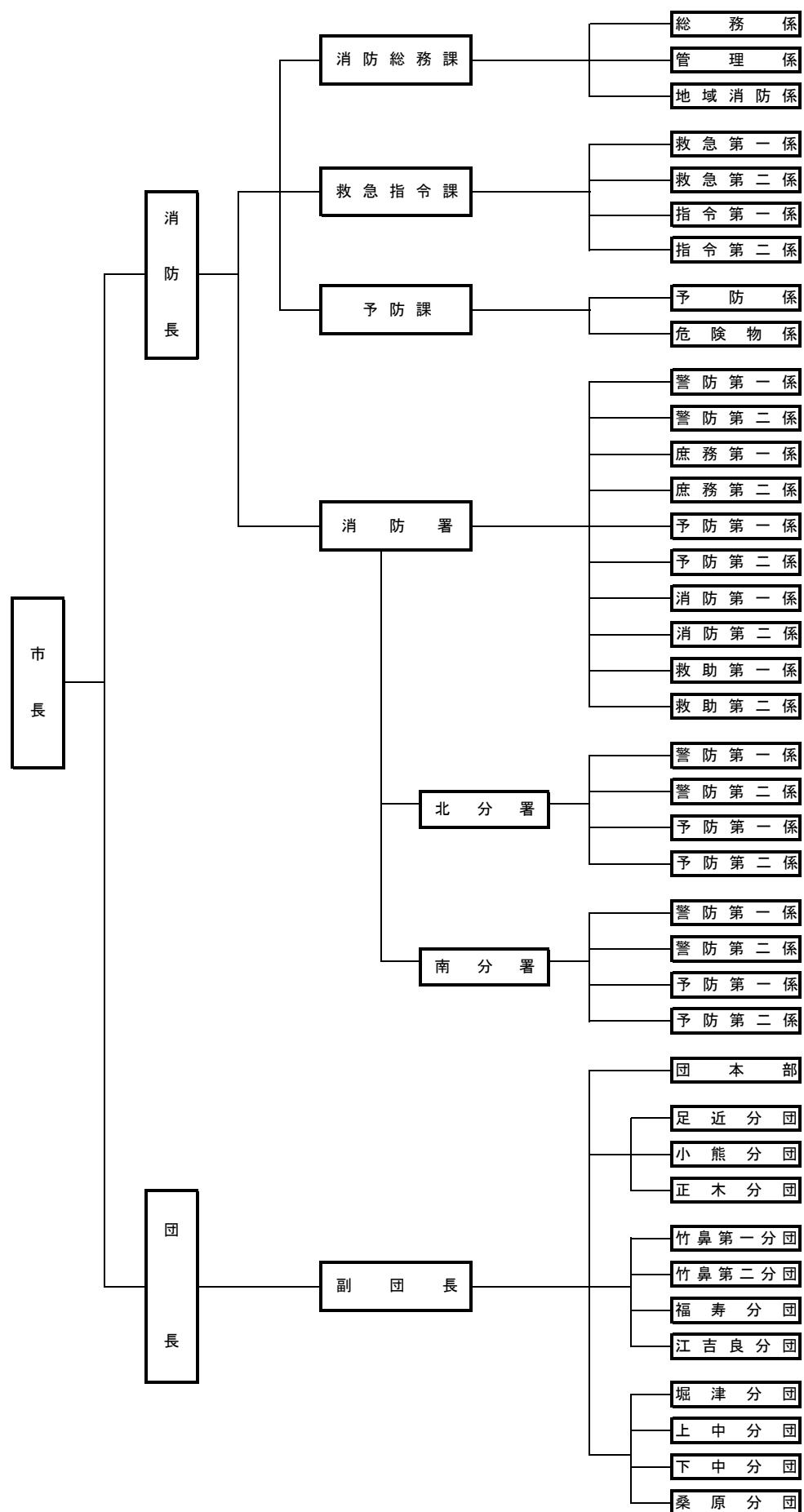
竹鼻第二分団本部

江吉良分団本部

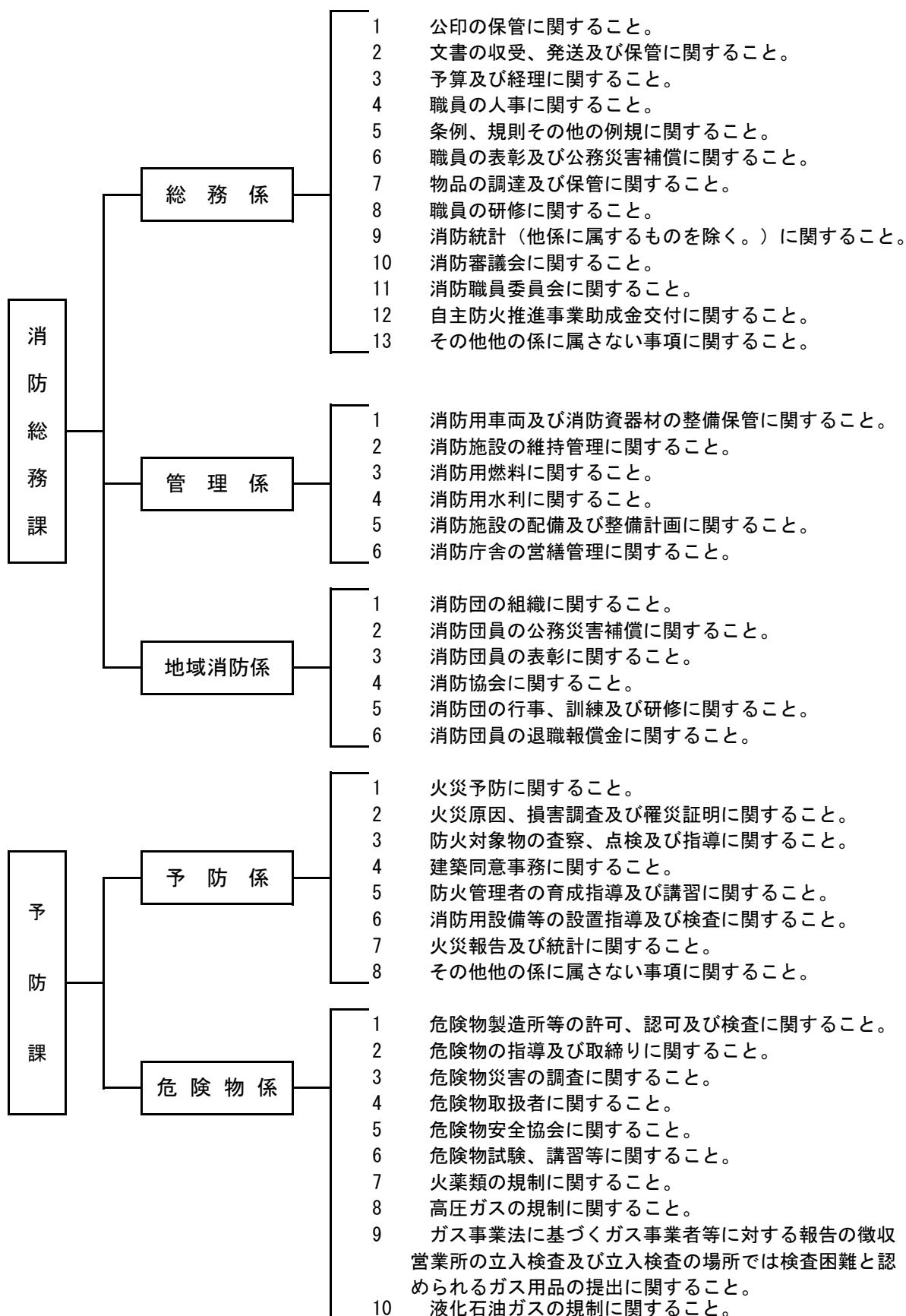
上中分団本部

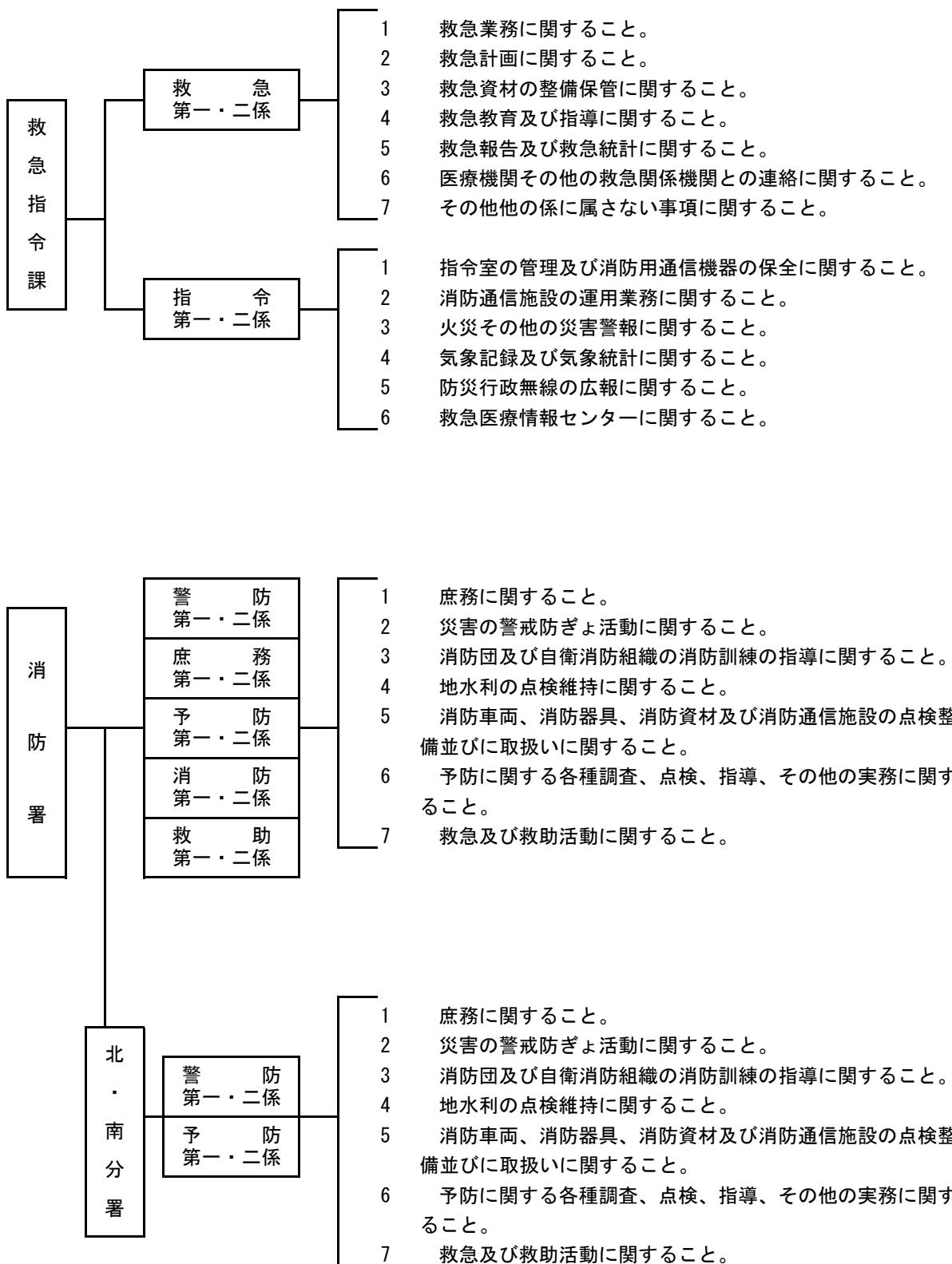
下中分団本部

消防組織図



事務分掌





消防予算

令和4年度の消防費は、827,947千円です。区分は、常備消防費 624,874千円(75.5%)、非常備消防費 50,092千円(6.1%)、消防施設費 139,467千円(16.8%)、水防費 13,514千円(1.6%)です。

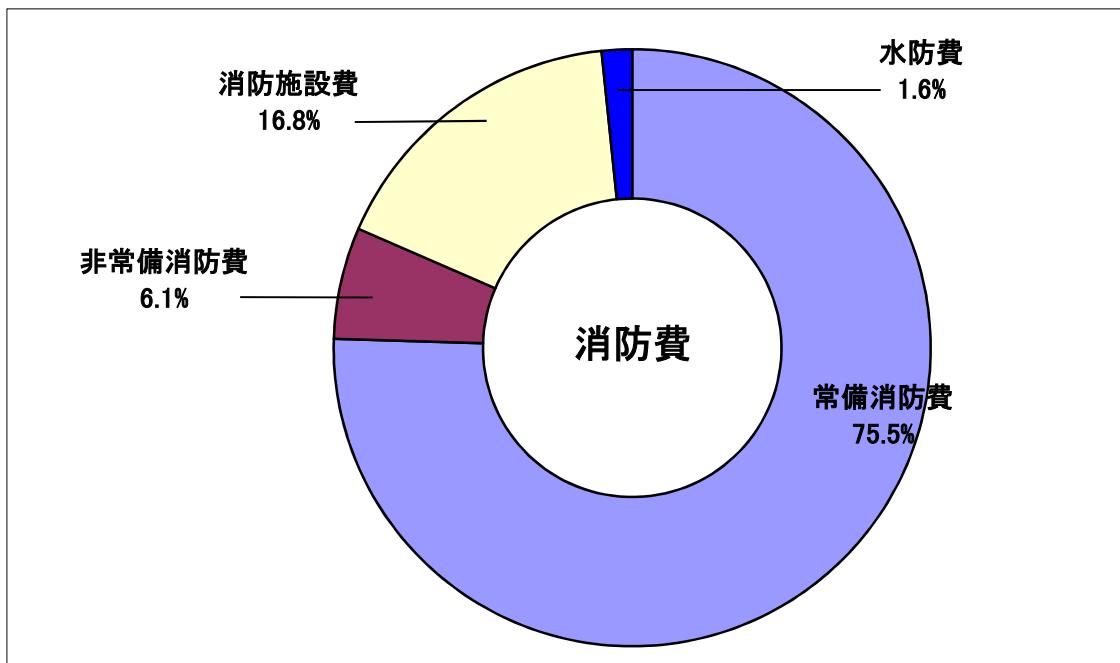
これらの予算は、消防体制の整備・強化及び消防団の活性化を推進し、市民が安心して生活できるまちづくりのために資するものです。

消防予算の状況

(単位:千円)

区分	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水防費
計	624,874	50,092	139,467	13,514
報酬	108	26,254	—	4,381
給料	299,847	—	—	—
職員手当等	178,486	—	—	—
共済費	95,967	—	—	—
災害補償費	—	100	—	—
賃金	—	—	—	—
報償費	15	5,892	—	2,305
旅費	1,533	21	—	104
交際費	80	—	—	—
需用費	21,905	4,912	692	600
役務費	9,472	835	85	234
委託料	1,448	88	91,498	4,922
使用料及び賃借料	2,767	252	660	54
工事請負費	—	—	33,154	—
原材料費	58	—	—	205
公有財産購入費	—	—	—	—
備品購入費	624	500	3,619	—
負担金及び交付金	11,994	10,866	9,759	709
補償、補填及び賠償金	10	—	—	—
公課費	560	372	—	—

消防費内訳表

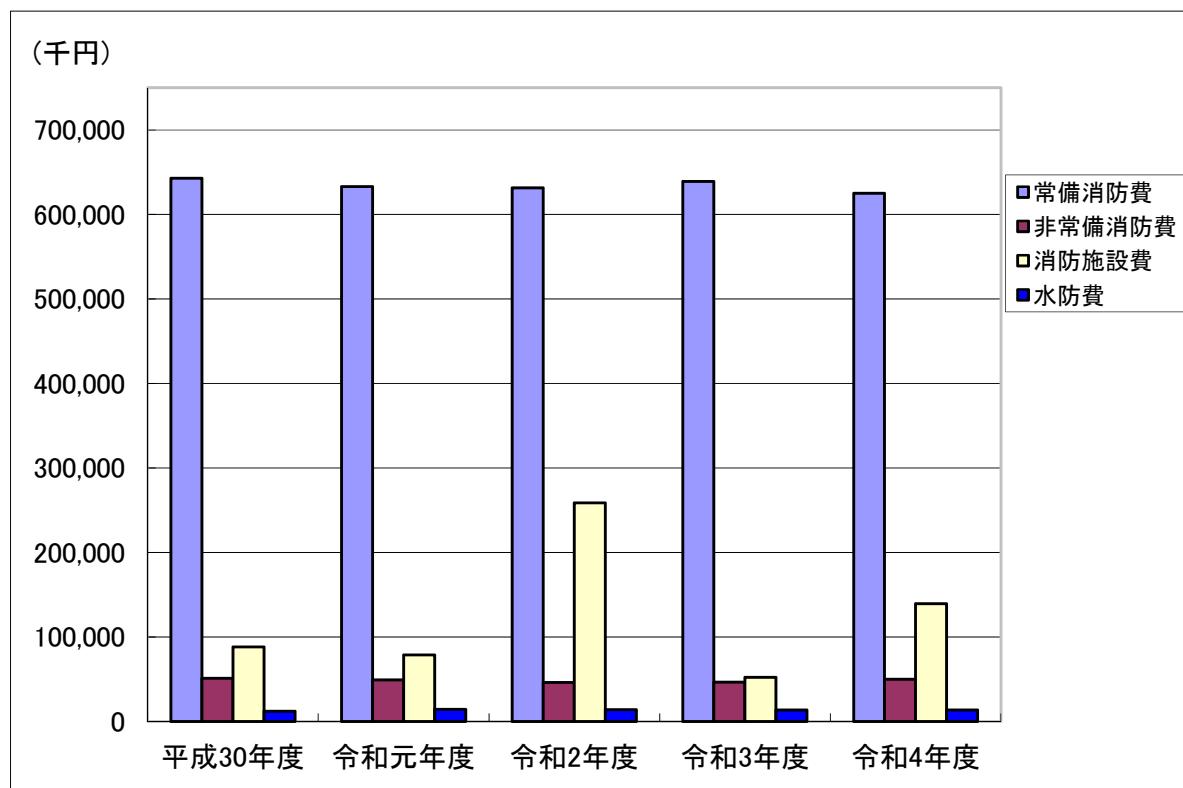


一般会計予算に占める消防予算(当初)

区分	一般会計予算 (千円)	消防費予算 (千円)	比率 (%)	人口 (人)	世帯数 (世帯)
平成30年度	21,150,000	794,479	3.8	67,929	26,030
令和元年度	23,620,000	775,486	3.3	67,700	26,358
令和2年度	23,450,000	949,966	4.1	67,484	26,706
令和3年度	24,000,000	751,488	3.1	67,241	26,995
令和4年度	22,500,000	827,947	3.7	66,920	27,174

※人口・世帯数は、4月1日現在のもの

消防費予算の推移



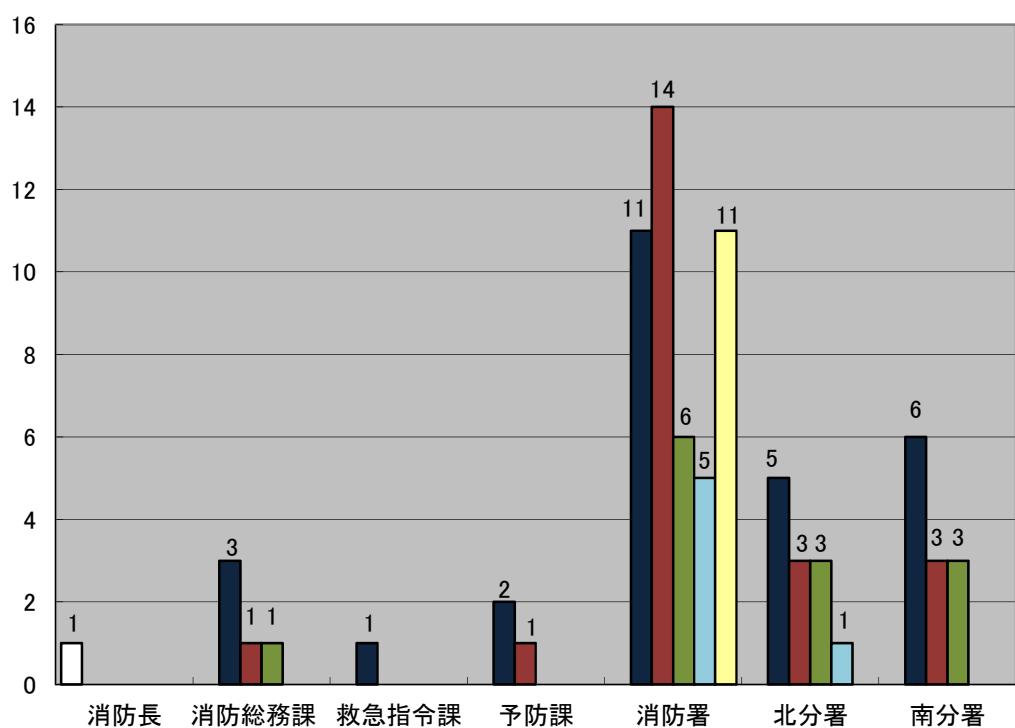
消防手当支給状況

職員の職	支給額(月額)	備考
消防士	給料月額の10分の1	月額12,000円を限度とする
夜間勤務職員	1夜につき 450円	

消防職員等の配置状況

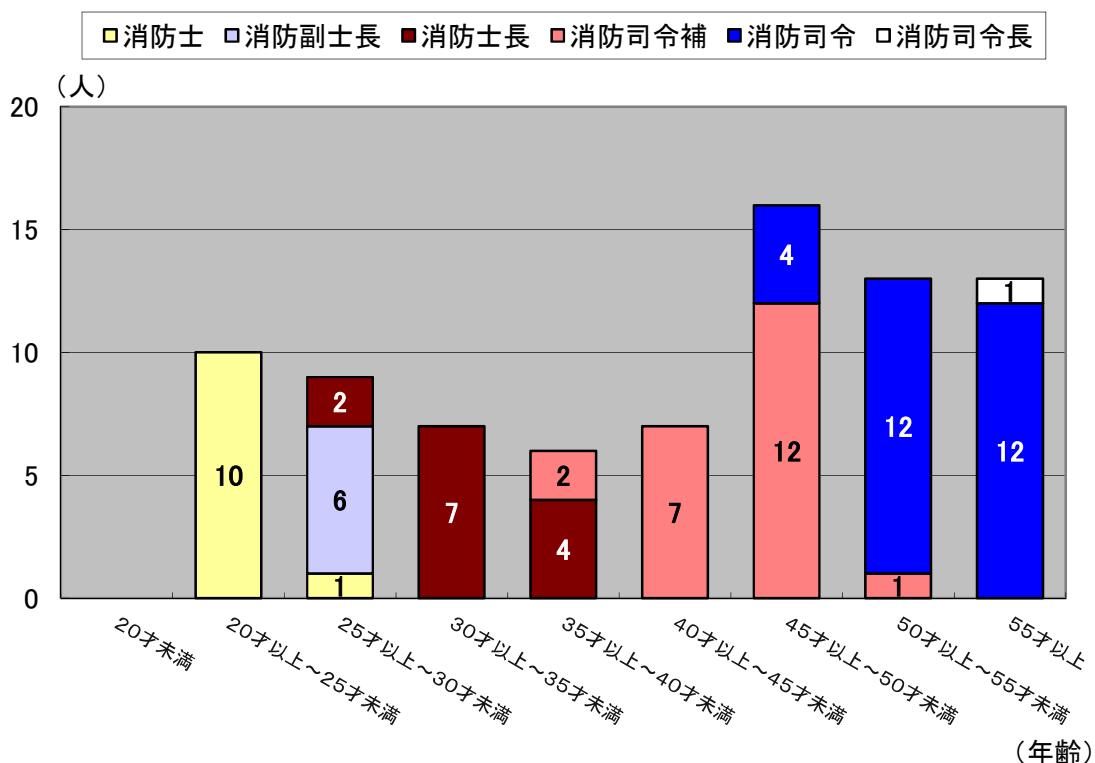
区分		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
消防本部	消防長	1	1				
	消防総務課	5		3	1	1	
	救急指令課	1		1			
	予防課	3		2	1		
消防署	署長	1		1			
	署員	46		10	14	6	5 11
北分署	分署長	1		1			
	署員	11		4	3	3	1
南分署	分署長	1		1			
	署員	11		5	3	3	
計		81	1	28	22	13	6 11

(人) □司令長 ■司令 ■司令補 ■士長 □副士長 □消防士



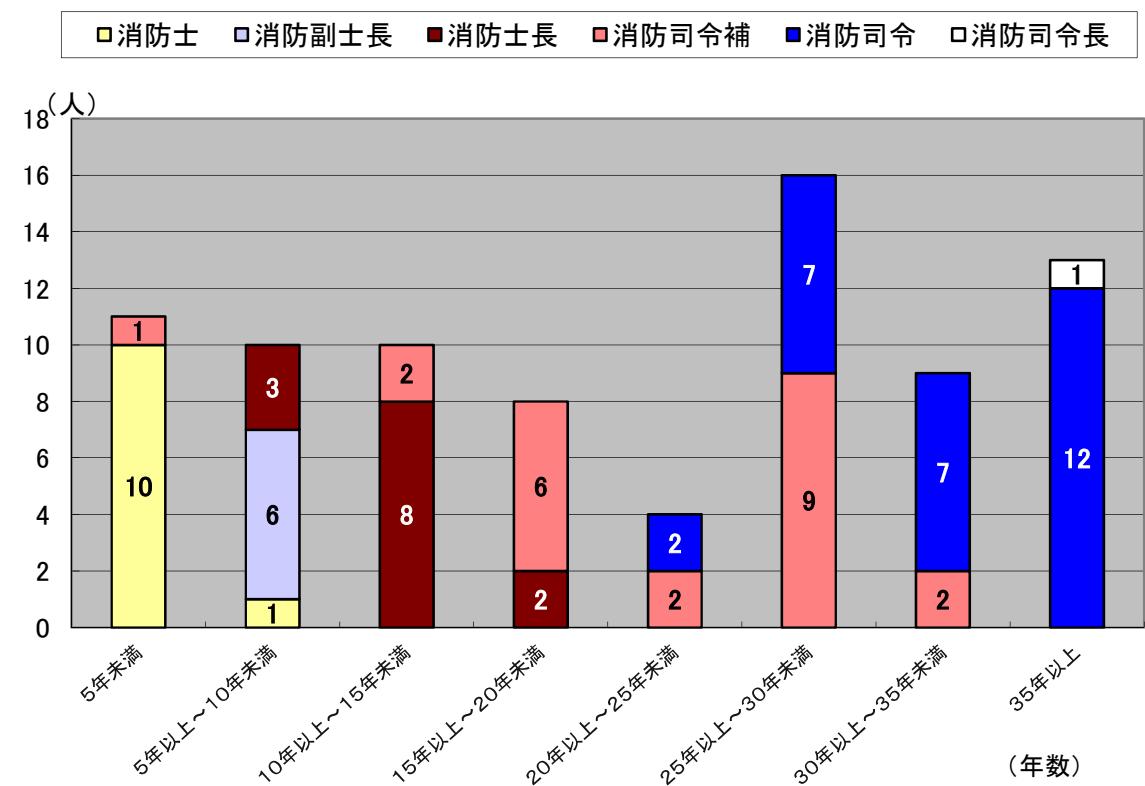
年齢別消防職員数

区分		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
20才未満	-						
20才以上～25才未満	10						10
25才以上～30才未満	9				2	6	1
30才以上～35才未満	7				7		
35才以上～40才未満	6			2	4		
40才以上～45才未満	7			7			
45才以上～50才未満	16		4	12			
50才以上～55才未満	13		12	1			
55才以上	13	1	12				
計	81	1	28	22	13	6	11
平均年齢	41.7	58.0	53.5	44.6	32.9	27.5	22.7



在職年数別消防職員数

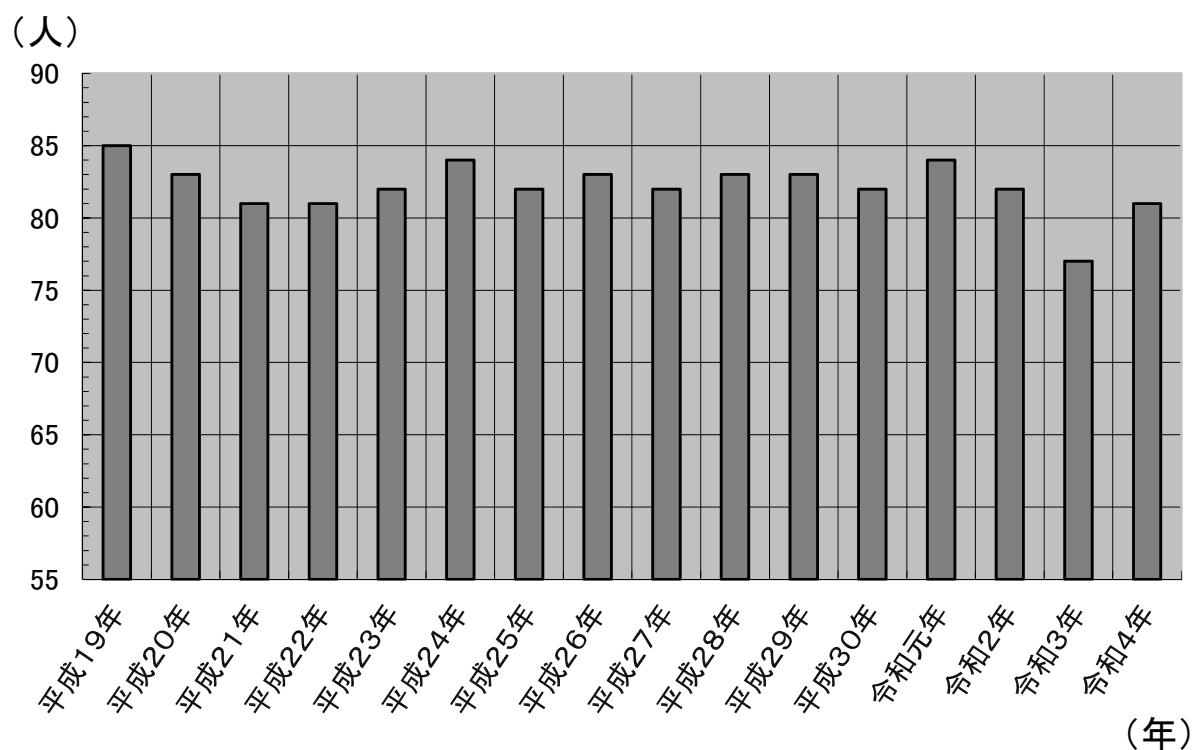
区分		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
5年未満	11			1			10
5年以上～10年未満	10				3	6	1
10年以上～15年未満	10			2	8		
15年以上～20年未満	8			6	2		
20年以上～25年未満	4		2	2			
25年以上～30年未満	16		7	9			
30年以上～35年未満	9		7	2			
35年以上	13	1	12				
計	81	1	28	22	13	6	11
平均勤続年数	20.9	39.7	28.8	22.7	12.1	8.0	1.9



5年間の消防職員の推移

区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
条例定数	85	85	88	88	88
消防職員数	82	84	82	77	81

消防職員数の状況



消防職員等公務災害発生件数の推移

区分	計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
平成30年	2		1	1			
令和元年	-						
令和2年	1						1
令和3年	3			1	1	1	
令和4年	-						

※階級は、受傷当時の階級

消防職員教養状況

区分		計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
消防大学校	警防科	1			1			
	救急科	1		1				
	火災調査科	1	1					
	危険物科	1		1				
	救助科	2		2				
	新任教官科	1		1				
岐阜県消防学校	初任教育	80	1	28	21	13	6	11
	警防科	10		6	3	1		
	予防科	6		6				
	火災調査科	13	1	8	2	2		
	予防査察科	10	1	6	2	1		
	危険物科	7		4	2	1		
	救急科	80	1	28	21	13	6	11
	救助科	24	1	15	6	1	1	
	特殊災害科	8	1	2	4	1		
	初級幹部科	11		7	4			
	中級幹部科	3		3				
	上級幹部科	2		2				
	水難救助科	9		2	4	3		
	はしご自動車科	13	1	9	3			
	消防操法指導科	18	1	14	1	2		
	らっぽ科	14		10	4			
	消防行政事務科	1	1					
	MC救命士養成講習	4		1	3			
	エレベーター教育	7		1	4	2		
	通信指令員の 救急に係る教育	5		3	1	1		

消防職員の資格等保有状況

区分		計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
自動車運転免許	大型2種	7		4	2	1		
	大型	65	1	28	20	12	4	
	中型2種	1		1				
	中型(8t限定含む)	69	1	28	22	11	5	2
	普通2種	1		1				
	普通	22				5	6	11
	大型特殊	2		2				
	けん引	1		1				
	二輪	22	1	9	9	2	1	
自動車整備士 2級ガソリン		1			1			
陸上特殊無線技師(1・2・3級)		80	1	28	22	13	6	10
乙種危険物取扱者第4類		54	1	12	13	13	4	11
救急救命士		20		8	5	6	1	
気管挿管救命士		14		5	5	4		
薬剤救命士		17		6	5	5	1	
ビデオ喉頭鏡		6		2	2	2		
ガス溶接技能者		14		8	3	2		1
アーク溶接技能者		6	1	3	2			
予防技術検定 (検定合格者含む)	防火査察	23	1	8	9	5		
	消防用設備等	10		5	4	1		
	危険物	7		3	3	1		
消防設備士	甲種	3		1	1	1		
	乙種	4		2	1	1		
小型船舶免許 2級 (湖川小出力含む)		19		6	5	7	1	
小型移動式クレーン 運転技能講習		58	1	27	20	9		1
玉掛け技能講習		53	1	26	18	6	1	1
足場組立等作業主任者		7		3	4			
潜水士		30		6	12	5	5	2
酸素欠乏・硫化水素 危険作業主任者技能講習		13	1	5	5	1		1
特定化学物質等 作業主任者		12		8	3			1
移動式クレーン 定期自主検査者安全教育講習		2		1	1			
防災士		8		4	4			
応急危険度判定士		2			1	1		

消防力の整備指針と現有消防力の比較

		基準台数 (台)	基準台数に 対する人員の 基準数 (人)	現有台数 (非常用を除く) (台)	現有台数に 対する人員の 基準数 (人)	現有人員数 (人)
指揮隊員	指揮車	1	8	1	8	
消防隊員	消防ポンプ自動車	5	61	4	48	
	はしご自動車	1	0	0	0	
	化学自動車	1	0	1	0	
	特殊車等	5	0	5	0	
救急隊員	救急自動車	4	32	4	8	
救助隊員	救助工作車	1	14	1	14	
合 計		18	115	16	78	ア イ

※消防力の整備指針を基に
算定した台数。

通信員	基準人員数 (人)	5	現有人員数 (人)	6
予防事務の要員	基準人員数 (人)	16	現有人員数 (人)	8
うち交替制による職員 (兼務人員数)		5		5
庶務の処理等の人員 (派遣職員等を含む)	基準人員数 (人)	14	現有人員数 (人)	14

	総 数
現有台数に対する消防本部及び署所の人員基準(人) 「ア+通信員(基準人員数)+予防要員(基準人員数-兼務人員数) +庶務の等処理等の人員(基準人員数)」	108
現 有 人 員 数 (人) 「イ+通信員(現有人員数)+予防要員(現有人員-兼務人員数) +庶務の処理等の人員(現有人員数)」	81
不 足 人 員 数 (人)	27
比 率 (%)	75.0

消防車両一覧表

区分	年式	号車名	登録番号	車名	型式 ポンプ級別	ポンプ 製作所名	経過 年数
消防本部（消防署）	水槽付消防ポンプ自動車	2001 羽島1	岐阜800さ5144	日野	I-A・A2級	GMIいちはら	21
	消防ポンプ自動車	2014 羽島2	岐阜800せ7576	日野	CD-1・A2級	(株)モリタ	8
	消防ポンプ自動車	1996 羽島3	岐阜 88ろ1756	三菱	CD-1・A2級	(株)モリタ	26
	救助工作車	2017 羽島41	岐阜 832も119	日野	II 型		5
	指揮車	2017 羽島51	岐阜800ぞ957	スバル			5
	現場指揮車	1994 羽島52	岐阜 88る6975	トヨタ			28
	防火広報車	2009 羽島63	岐阜100ぞ1980	トヨタ			13
	防火指導車	2011 羽島64	岐阜480さ9886	ダイハツ			11
	資機材搬送自動車	2005 羽島71	岐阜800す4748	いすゞ			17
	電源照明車	2007 羽島72	岐阜800す8794	トヨタ			15
	化学消防ポンプ自動車	2002 羽島化学1	岐阜800は 368	日野	II 型・A2級	GMIいちはら	20
	災害対応特殊救急自動車	2018 救急羽島1	岐阜832ゆ119	日産	高規格		4
	救急自動車	2021 救急羽島5	岐阜830さ2112	日産	高規格		1
	災害対応特殊救急自動車	2005 救急羽島6	岐阜800す3919	トヨタ	高規格		17
	査察車	2009 ステラ	岐阜580ふ 816	スバル			13
南分署	人員輸送車	2001 ハイエース	岐阜300な4038	トヨタ			21
	連絡車	2006 アルト	岐阜580こ1841	スズキ			16
	連絡車	2017 ヴィッツ	岐阜503の8992	トヨタ			5
北分署	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車	2016 羽島南1	岐阜 800は2519	日野	I-B・A2級	(株)モリタ	6
	広報車	2009 羽島南51	岐阜880あ 718	ダイハツ			13
	救急自動車	2008 救急羽島3	岐阜800せ 694	トヨタ	高規格		14
北分署	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車	2012 羽島北1	岐阜800は1950	日野	I-B・A2級	(株)モリタ	10
	査察車	2009 ステラ	岐阜580ふ 556	スバル			13
	救急自動車	2014 救急羽島2	岐阜800せ6662	トヨタ	高規格		8

※羽島北1、羽島南1、救急羽島1は、緊急消防援助隊登録車両

消防水利の現況

区分		計	足 近 町	小新 熊生 町町	正 木 町	竹 鼻 町	福 寿 町	江舟 吉 良 町町	堀 津 町	上 中 町	下 中 町	桑 原 町
合 計		1,410	98	121	206	273	153	132	78	138	90	121
防火水槽	100m ³ 以上	12				6	2	4				
	40m ³ 以上	142	12	15	25	21	9	6	10	8	22	14
	40m ³ 未 満	81	2	1	21	12	15	4	1	23	2	
防火水槽 計		235	14	16	46	39	26	14	11	31	24	14
消 火 栓	地 下	856	51	64	118	209	113	109	30	79	50	33
	地 上	256	14	28	40	20	13	7	26	22	16	70
消火栓 計		1,112	65	92	158	229	126	116	56	101	66	103
井 戸		50	17	12	1	2		1	10	4		3
プール		13	2	1	1	3	1	1	1	2		1
豪・池		0										
その他 計		63	19	13	2	5	1	2	11	6	-	4

消防相互応援協定

1. 隣接市町との応援協定

協定市町村等 (名称は締結時のもの)	施行年月日	第一次派遣区域	第二次派遣区域
笠松町	平成31年 2月19日	管轄区域の境界付近	全 域
羽島郡消防事務組合	昭和61年12月 1日	市町境界付近約2km内	
輪之内町	平成元年 6月 1日	市町境界の橋梁の端より約2km以内の区域	
岐阜市	平成18年 1月 1日	茶屋新田、中島、大脇、柳津町	
海津市	平成18年 4月 1日	平田町野寺、幡長、勝賀	
大垣消防組合	平成19年10月 1日	市町界の長良川に架かる橋梁から約2km内	

2. 高速道路における消防相互応援協定

協定名	施行年月日	協定市町村等(名称は締結時のもの)			応援区域
高速道路における消防相互応援協定	平成19年 1月19日	小牧市	一宮市	羽島市	第1次担当消防機関及び第2次担当消防機関
		岩倉市	稻沢市	大垣消防組合	
名神高速道路消防応援協定	昭和58年 6月 1日	大垣消防組合	彦根市	湖南消防組合	
		養老町	愛知郡広域行政組合	大津市	
		不破消防組合	中部地域消防組合	羽島市	
		坂田郡広域行政組合	甲賀郡行政事務組合		
岐阜県内の高速道路等における消防相互応援協定	令和 2年12月 1日	岐阜市	高山市	多治見市	
		中津川市	瑞浪市	羽島市	
		恵那市	土岐市	各務原市	
		飛弾市	郡上市	養老町	
		大垣消防組合	中濃消防組合	可茂消防事務組合	
		羽島郡広域連合	不破消防組合	揖斐郡消防組合	

3. 広域消防相互応援協定等

協定名	施行年月日	協定市町村等(名称は締結時のもの)		応援区域
屈折はしご付消防自動車の運用委託に関する消防応援協定	令和 3年 8月 1日	羽島郡広域連合		羽島市全域
岐阜県広域消防相互応援協定	令和 3年12月 1日	岐阜県内21市19町2村6消防組合		ブロック派遣は、岐阜地域内 県域派遣は、岐阜県内全域
岐阜県防災ヘリコプター支援協定	平成31年 1月 1日	岐阜県		岐阜県全域
木曽川流域消防相互応援協定	平成19年 1月25日	一宮市	羽島市	木曽川流域
		犬山市	各務原市	
		江南市	海津市	
		稻沢市	羽島郡広域連合	
		丹羽広域事務組合		
岐阜県ドクターヘリ事業に関する協定	平成23年 2月 9日	岐阜県と岐阜大学医学部附属病院と県下消防管理者		

消防機関の出動状況

区分	計	火 災	風 水 害 等 の 災 害	演 習 ・ 訓 練 等	救 急	救 助	廣 報 ・ 指 導	警 防 調 査	火 災 調 査	特 別 警 戒	搜 索	予 防 查 察	誤 報 等	そ の 他
出動件数合計	3,558	28	-	10	3,051	43	68	110	11	1	3	219	14	-
1月	287	2			268	5		2	1			8	1	
2月	256	3			238	4		3	1			7		
3月	255	3			228	1	18	3	1				1	
4月	245	5			228	6	3		3					
5月	331	5		1	244	3	7	38	2			28	3	
6月	378	2		1	298	5	4	26				1	38	3
7月	290				233	3	4	11					39	
8月	320	1		1	292	1	1	17					7	
9月	258	2		1	236	7	3	6	1	1			1	
10月	296	1		1	250	3	5	1			2	30	3	
11月	310	3		5	243	3	20		1			33	2	
12月	332	1			293	2	3	3	1			29		
出動延人数合計	11,602	384		90	9,446	396	192	380	93	8	33	436	144	

※1つの火災指令で、消火活動と火災調査を行った場合は、「火災」にのみ件数を計上している。

予防・危険物



市長賞作品

令和4年度 火災予防に関するポスター

防火対象物現況・立入検査状況

区分			防火対象物総数	防業火務管理象者物選数任	防届火出済理対者象物數	立入検査実施数
合計			2,603	596	480	219
消防法施行令別表第一による防火対象物	1	イ 劇場・映画館・演芸場・観覧場	-	0	0	0
		口 公会堂・集会場	39	39	30	4
	2	イ キャバレー・カフェ・ナイトクラブ	1	1	1	0
		口 遊技場・ダンスホール	10	8	7	0
	ハ	風俗営業等の店舗	-	0	0	0
	ニ	カラオケボックス等	2	2	2	0
	3	イ 待合・料理店	11	10	7	0
		口 飲食店	184	105	77	11
	4	百貨店・マーケット・店舗	139	91	75	20
	5	イ 旅館・ホテル・宿泊所	21	19	18	0
		口 寄宿舎・下宿・共同住宅	544	32	14	39
	6	イ 病院・診療所・助産所	50	8	7	3
		口 老人福祉・有料老人ホーム・救護・更生児童福祉・身体障害者更生援護・知的障害者援護施設・精神障害者社会復帰施設	50	47	39	1
	7	老人ディサービスセンター・軽費老人ホーム・老人福祉センター老人介護支援センター・有料老人ホーム(要介護者入居施設を除く)助産施設・保育所他	58	33	32	2
	8	二 幼稚園・盲学校・聾学校・養護学校	6	4	4	0
	9	小・中・高等学校・大学校・各種学校	55	55	55	0
	10	図書館・博物館・美術館	4	2	2	1
	11	イ 公衆浴場のうち蒸気浴場・熱気浴場	-	2	2	0
		口 イに揚げる公衆浴場以外の公衆浴場	2	1	1	0
	12	10 車両の停車場・船舶・航空機の発着場	1	1	1	0
	13	神社・寺院・教会	78	7	6	3
	14	イ 工場・作業場	704	39	30	62
		口 映画スタジオ・テレビスタジオ	-	0	0	0
	15	イ 自動車車庫・駐車場	26	0	0	3
		口 飛行機又は回転翼航空機の格納庫	-	0	0	0
	16	14 倉庫	286	1	1	31
		15 前各項に該当しない事業場	195	43	37	28
	17	イ 特定防火対象物が存する複合用途特定防火対象物	104	40	30	6
		口 上記以外の複合用途防火対象物	29	6	2	5
		重要文化財・重要有形民族資料史跡建物	4	0	0	0

用途別中高層建築物現況

区分		計	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階以上
			151	81	29	13	8	5	4	3
消防法施行令別表第一による防火対象物	1	イ 劇場・映画館	-							
		口 公会堂・集会場	2	1	1					
	2	イ キャバレー等	-							
		口 遊技場等	1	1						
		ハ 風俗営業等の店舗	-							
		二 カラオケボックス等	-							
	3	イ 料理店等	-							
		口 飲食店	-							
	4	百貨店・店舗等	-							
	5	イ 旅館・ホテル等	13		3	2	1	1		3
		口 共同住宅等	62	34	10	3	7	1	3	4
	6	イ 病院・診療所等	4	1		3				
		口 老人福祉・有料老人ホーム	1	1						
		ハ 老人デイサービスセンター	1	1						
		二 幼稚園等	-							
	7	小・中・学校等	6	4	1	1				
	8	図書館・博物館等	-							
	9	イ 蒸気浴場・熱気浴場	-							
		口 公衆浴場	1	1						
	10	停車場・発着場	-							
	11	神社・仏閣	-							
	12	イ 工場・作業場	12	11	1					
		口 映画スタジオ等	-							
	13	イ 駐車場等	-							
		口 飛行機等の格納庫	-							
	14	倉庫	5	2	2			1		
	15	その他の事業所	18	10	4	1		1	1	1
	16	イ 特定複合用途	15	8	4	2		1		
		口 非特定複合用途	10	6	3	1				
	17	重要文化財等	-							

用途別消防同意状況

区分		計 160	1月 8	2月 15	3月 18	4月 5	5月 12	6月 16	7月 16	8月 15	9月 9	10月 15	11月 16	12月 15
			1月 8	2月 15	3月 18	4月 5	5月 12	6月 16	7月 16	8月 15	9月 9	10月 15	11月 16	12月 15
消防法施行令別表第一による防火対象物	1	イ 劇場・映画館	-											
		口 公会堂・集会場	1						1					
	2	イ キャバレー等	-											
		口 遊技場等	-											
		ハ 風俗営業等の店舗	-											
	3	二 カラオケボックス等	-											
		イ 料理店等	-											
		口 飲食店	1								1			
	4	百貨店・店舗等	3						2				1	
	5	イ 旅館・ホテル等	-											
		口 共同住宅等	4						1	2	1			
	6	イ 病院・診療所等	1				1							
		口 老人福祉・有料老人ホーム	2			1								1
		ハ 老人ディサービスセンター	3			1						1	1	
	7	二 幼稚園等	-											
	8	小・中・学校等	-											
	9	図書館・博物館等	-											
		イ 蒸気浴場・熱気浴場	-											
		口 公衆浴場	-											
	10	停車場・発着場	-											
	11	神社・仏閣	-											
	12	イ 工場・作業場	6		1				2			1	2	
		口 映画スタジオ等	1							1				
	13	イ 駐車場等	-											
		口 飛行機等の格納庫	-											
	14	倉庫	10		1		1	2	1		1	2	1	1
	15	その他の事業所	14	2	3	1		2		1	1	2	1	1
	16	イ 特定複合用途	2									1	1	
		口 非特定複合用途	-											
<input type="checkbox"/> エレベーター・エスカレーター・その他		16	2		3	1	4	1	1					4
<input type="checkbox"/> 住宅		96	4	11	11	3	5	7	12	12	7	8	9	7

工事別消防同意件数

区分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		160	8	15	18	5	12	16	16	15	9	15	16
新築	154	8	15	17	5	12	16	16	15	8	15	15	12
増築	3			1						1		1	
改築	-												
移転	-												
その他	3												3

構造別消防同意件数

区分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		160	8	15	18	5	12	16	16	15	9	15	16
木造	103	5	10	11	3	7	10	11	11	6	7	13	9
鉄骨構造	56	3	5	6	2	5	6	5	4	3	8	3	6
鉄筋コンクリート構造	-												
その他	1			1									

用途地域別消防同意件数

区分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
		172	8	16	18	6	17	17	18	15	11	15	16	15
第1種低層住居地域	2				1			1						
第2種低層住居地域	-													
第1種中高層住居地域	15	1			2	4		2	2		2	2		
第2種中高層住居地域	9					4								5
第1種住居地域	34		6	2		2	4	5	1	6	2	2	4	
第2種住居地域	20		3	3	1	1		2	1	1		6	2	
準住居地域	3		2				1							
近隣商業地域	23	2	1	2	1		1	5	3	1	3	3	1	
商業地域	16	2	2	5	2	1	1		1		1	1		
準工業地域	32		2	1		5	7	3	4	3	2	2	3	
工業地域	-													
工業専用地域	-													
指定なし	18	3		4			2	1	3		5			

※ 複数の用途地域にまたがる場合は、それぞれの用途地域に件数を計上している。

火災予防に関する届出状況

届 出 区 分	届出件数
計	2,614
防 火 管 理 者 選 任 (解 任) 届	122
消 防 計 画 作 成 (变 更) 届	130
消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果報告書	953
消 防 用 設 備 等 の 工 事 計 画 届	35
消 防 用 設 備 等 (特 殊 消 防 用 設 備 等) 設 置 届	120
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	34
消 防 訓 練 実 施 届	337
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの開始届	31
毒 ・ 劇 物 貯 藏 取 扱 届	0
少 量 危 険 物 貯 藏 取 扱 届	17
指 定 可 燃 物 貯 藏 取 扱 届	3
炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー・給湯湯沸設備・乾燥設備・サウナ設備 ヒートポンプ冷暖房機・火花を生じる設備・放電加工機設備設置届	14
燃料電池発電・変電・発電・蓄電・ネオン管設備設置届	19
水 素 ガ ス を 充 填 す る 気 球 設 置 届	0
火災とまぎらわしい煙等を発するおそれのある行為の届	105
煙 火 の 打 ち 上 げ 又 は 仕 掛 け 届	5
催 物 開 催 届	8
道 路 工 事 届	649
露 店 等 の 開 設 届	32

危険物施設現況

区分		危 険 物 施 設 数	五 倍 以 下	五 倍 を 超 え 十 倍 以 下	十 倍 を 超 え 五 十 倍 以 下	五 十 倍 を 超 え 百 倍 以 下	百 倍 を 超 え 百 五 十 倍 以 下	百 五 十 倍 を 超 え 二 百 倍 以 下	二 百 倍 を 超 え 千 倍 以 下	千 倍 を 超 え る も の
計		152	56	29	29	14	3	6	14	1
製造所		3		1	2					
貯蔵所	屋内	26	11	5	4	4			1	1
	屋外タンク	11	1	3	6			1		
	屋内タンク	4	2	1	1					
	地下タンク	37	18	5	5	5	2	1	1	
	簡易タンク	-								
	移動タンク	12	11		1					
	屋外	4		4						
取扱所	給油	32	3	4	6	2	1	4	12	
	販売	1	1							
	一般	22	9	6	4	3				
	移送	-								

危険物施設入検査状況

区分		計	製造所	貯蔵所							取扱所				
				屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油取扱所	販売	一般	移送取扱所	
施設数		152	3	26	11	4	37	-	12	4	32	1	-	22	-
立入検査	実施数	74	3	13	6	0	10	-	11	0	18	1	-	12	-
	行政指導数	21	0	3	0	0	0	-	1	0	10	1	-	6	-

危険物施設許可・完成検査等状況

区分		製造所	貯蔵所							取扱所					
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油取扱所	販売	一般	移送取扱所		
計		15	-	1	-	-	-	-	1	-	12	-	-	1	-
許可	設置	2							1					1	
	変更	5									5				
完成検査	設置	1		1											
	変更	7									7				

消防訓練指導状況

区分	避難訓練			初期消火訓練			消火栓操法訓練			防火研修		
	回数	指導人員	参加人員	回数	指導人員	参加人員	回数	指導人員	参加人員	回数	指導人員	参加人員
計	36	126	4,805	37	130	2,643	3	9	116			
1月												
2月												
3月												
4月	3	10	1,220	1	4	50						
5月	5	17	1,327	5	14	516	2	6	81			
6月	2	6	31	4	14	91						
7月	3	12	112	4	16	142						
8月	1	3	160	1	3	160						
9月	2	6	40	2	7	32						
10月	5	18	612	5	18	349						
11月	12	44	1,062	12	44	1,062						
12月	3	10	241	3	10	241	1	3	35			

火災統計



市長賞作品

令和4年度 火災予防に関するポスター

火災の概況

- ・総出火件数は28件、前年比5件の増加、建物火災は全火災の約29%
- ・火災による死者は1人、負傷者は1人
- ・出火原因の第1位は「たき火」4件、第2位は「たばこ」3件、「火入れ」3件
- ・火災の損害額は1,236,184千円、1日あたり約3,387千円の損害

区分		令和4年 (A)	令和3年 (B)	増減 (A)-(B) (C)
火災件数	建物火災	8	15	△7
	車両火災	2	4	△2
	その他の火災	18	4	14
	計	28	23	5
焼損棟数	全焼	2	13	△11
	半焼	2	3	△1
	部分焼	4	13	△9
	ぼや	3	5	△2
	計	11	34	△23
焼損面積 (m ²)	建物(床面積)	5,434	1,486	3,948
	その他(枯草等)	4,437	1,027	3,410
り災世帯		8	16	△8
り災人員		15	46	△31
損害額(千円)		1,236,184	66,192	1,169,992
死傷者	死者	1	2	△1
	負傷者	1	5	△4

1日平均出火件数 約0.08件

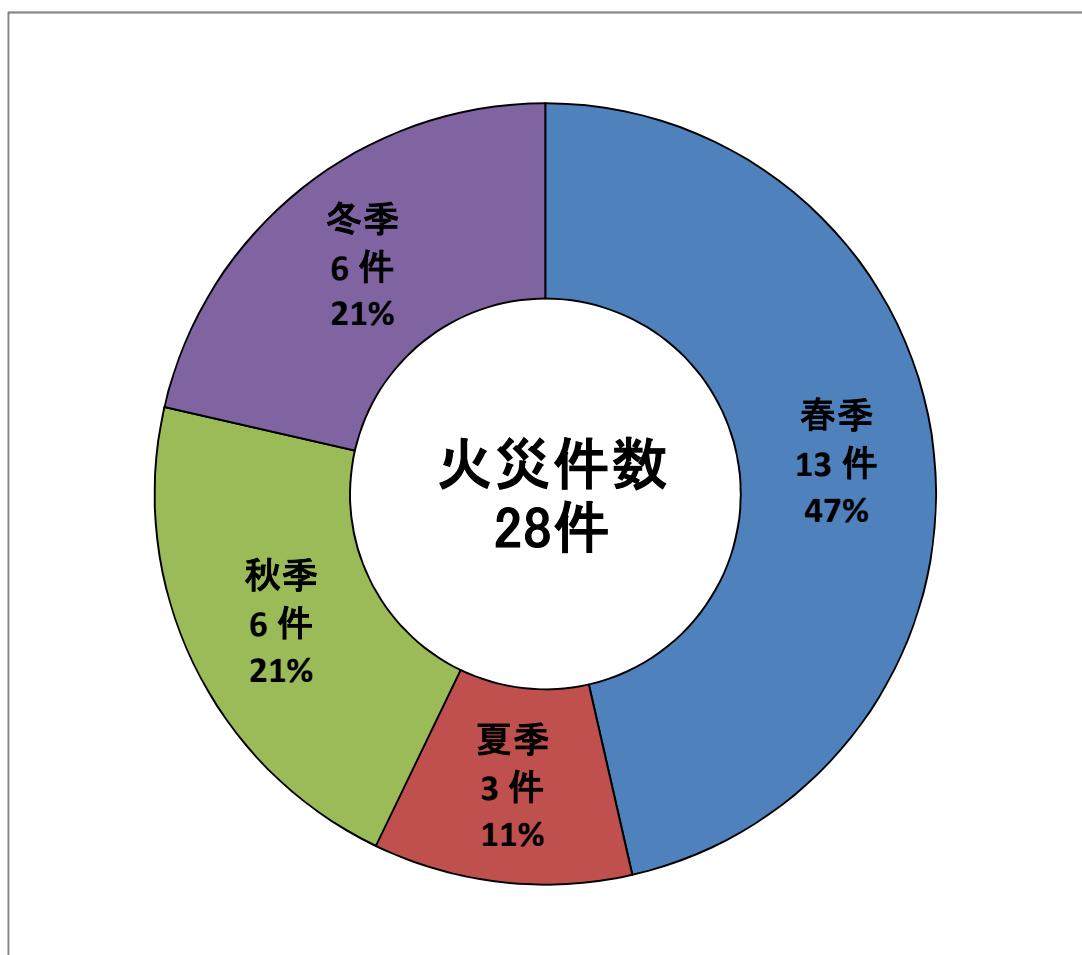
1日平均火災損害額 約3,387千円

火災1件あたり平均損害額 約44,149千円

建物火災1件あたり焼損床面積 約679m²

四季別火災状況

区分	火災件数	焼損床面積 (m ²)	損害額 (千円)
計	28	5,434	1,236,184
春季(3月～5月)	13	166	28,117
夏季(6月～8月)	3	0	121
秋季(9月～11月)	6	4,641	1,122,933
冬季(1～2月/12月)	6	627	85,013



月別火災状況

区分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火災件数	建物	8	1	1	1	2	1	1			1		
	車両	2			1							1	
	その他	18	1	2	1	3	4	1		1	1	1	2
	計	28	2	3	3	5	5	2	-	1	2	1	3
焼損棟数	全焼	2		1		1							
	半焼	2		1							1		
	部分焼	4		2	1	1							
	ぼや	3	1				1	1					
	計	11	1	4	1	2	1	1	-	-	1	-	-
焼損面積 (㎡)	建物 (床面積)	5,434		627	1	165					4,641		
	その他 (枯草等)	4,437	420	231		100	6				30	940	2,700
死傷者	死者	1				1							
	負傷者	1			1								
り災程度	全損	3		2		1							
	半損	-											
	小損	4	1	2	1								
	計	7	1	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-
り災人員		15	1	11	1	2							
損害額 (千円)	合計	1,236,184	-	85,013	1,135	20,679	6,303	120	-	1	1,122,670	82	181
	建物	150,335		80,774	28	19,369					50,164		
	収容物	1,084,416		4,182	2	1,306	6,300	120			1,072,506		
	小計	1,234,751	-	84,956	30	20,675	6,300	120	-	-	1,122,670	-	-
	車両	1,341		56	1,105							180	
その他		92		1		4	3			1		82	1

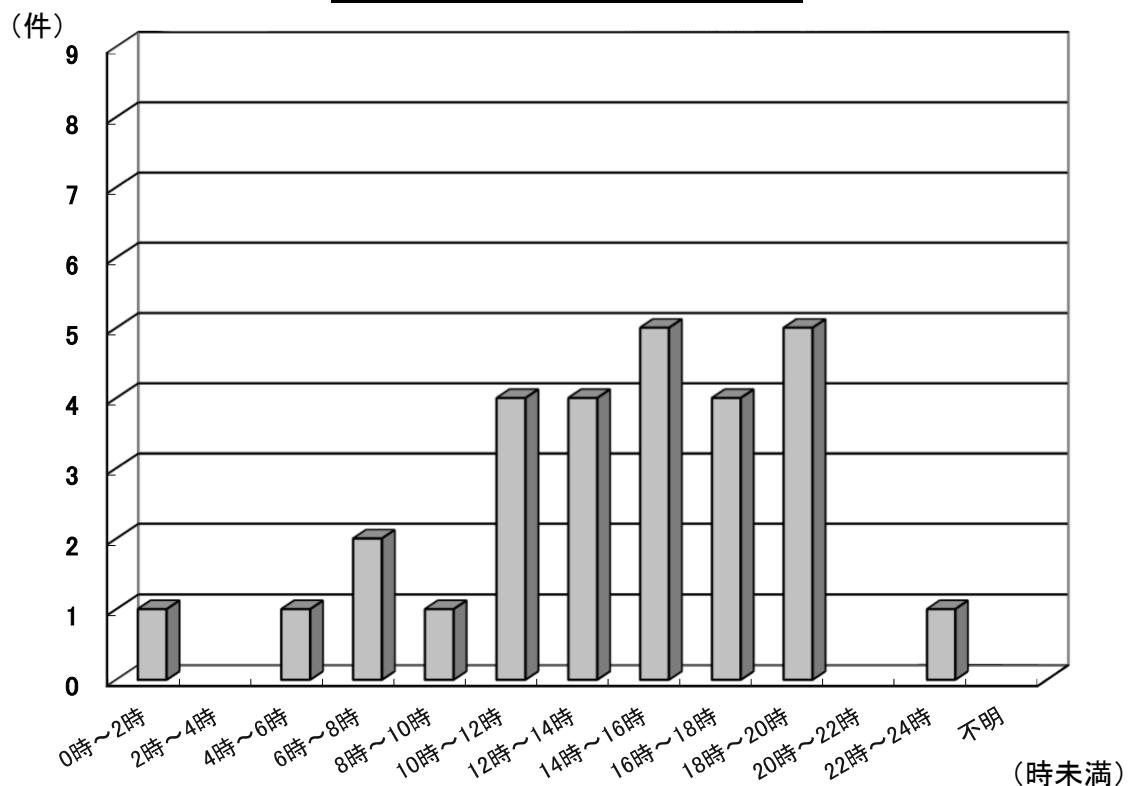
※ り災程度は、り災人員が発生したものと計上

時間別火災状況

区分	火災件数	建物面積損(m ²)	死傷者		り災		損害額(千円)					
			死者	負傷者	世帯	人員	計	建物			車両	その他
								建物	収容物	小計		
計	28	5,434	1	1	8	15	1,236,184	150,335	1,084,416	1,234,751	1,341	92
0時～2時	1						1,105			-	1,105	
2時～4時							-			-		
4時～6時	1						-			-		
6時～8時	2	1		1	1	1	32	28	2	30		2
8時～10時	1						-			-		
10時～12時	4						82			-		82
12時～14時	4	627			5	11	85,015	80,774	4,182	84,956	56	3
14時～16時	5						185			-	180	5
16時～18時	4	129	1		2	3	17,117	15,909	1,208	17,117		
18時～20時	5	4,641					1,129,090	50,164	1,078,926	1,129,090		
20時～22時							-			-		
22時～24時	1	36					3,558	3,460	98	3,558		
不明							-			-		

(時未満)

時間別火災件数



気象別火災状況

区分		火災件数				死傷者		損害額(千円)			
		計	建物	車両	その他	死者	負傷者	計	建物	車両	その他
		28	8	2	18	1	1	1,236,184	1,234,751	1,341	92
風向	北	-						-			
	北北東	1			1			-			
	北東	-						-			
	東北東	-						-			
	東	-						-			
	東南東	-						-			
	南東	2	2					1,126,228	1,126,228		
	南南東	2	2					6,420	6,420		
	南	2			2			-			
	南南西	2			2			1			1
	南西	-						-			
	西南西	2	1		1	1		17,118	17,117		1
	西	5	1	1	3			184		180	4
	西北西	6	2		4		1	85,126	84,986	56	84
	北西	2		1	1			1,105		1,105	
	北北西	4			4			2			2
	無風状態	-						-			
	風向不明	-						-			
火災警報発令	有	-									
	無	28	8	2	18						

用途別月別火災状況

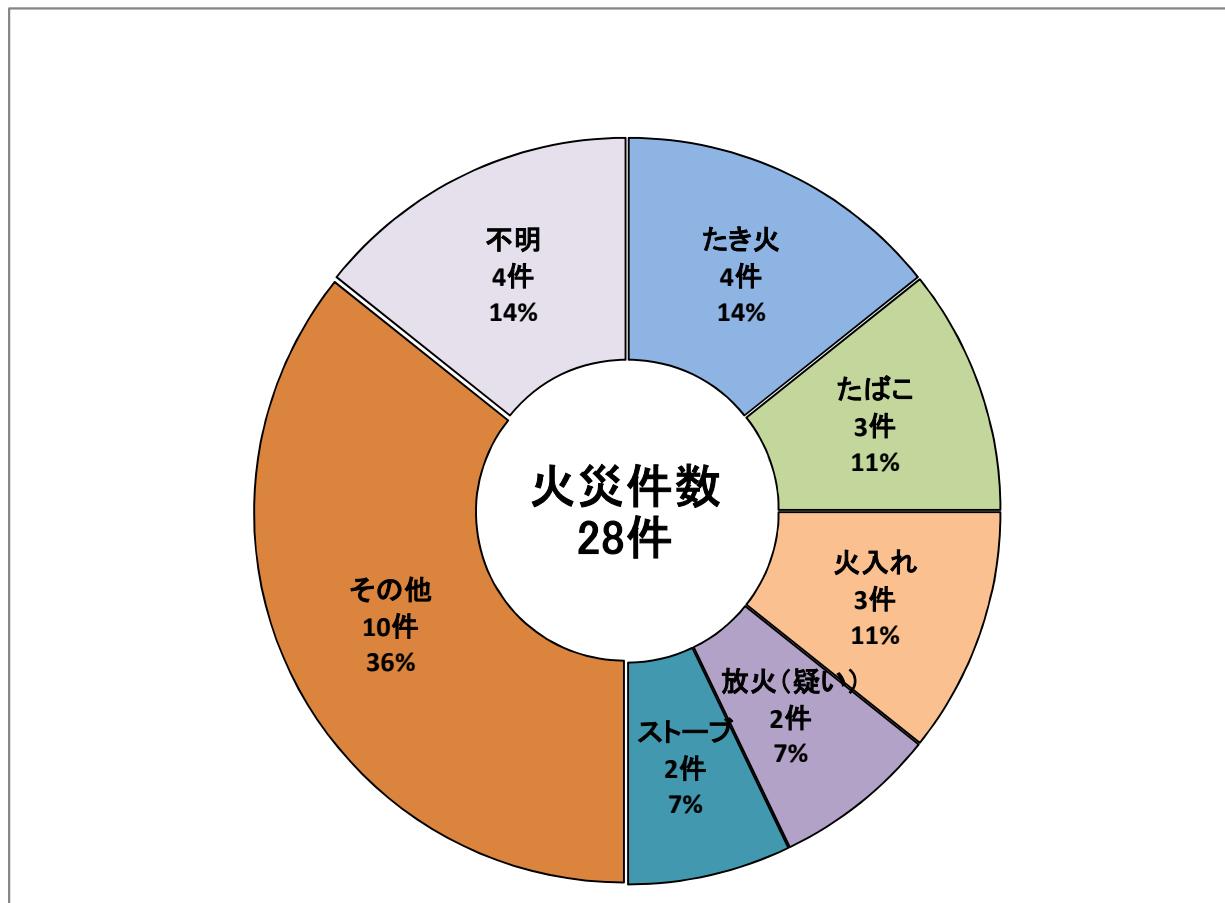
区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災件数		28	2	3	3	5	5	2	-	1	2	1	3	1
建 物	住 宅	5	1	1	1	1		1						
	併用住宅	-												
	工 場	2					1				1			
	その 他	1				1								
車 両		2			1								1	
その 他		18	1	2	1	3	4	1		1	1	1	2	1

区域別火災状況

区分	火 灾 件 数				焼損床面積 建物 (m ²)	損害額 (千円)
	計	建物	車 両	その他の		
	28	8	2	18		
足 近 町	-					
小 熊 町	3		1	2		184
新 生 町	-					
正 木 町	7	2		5	4,642	1,122,700
竹 鼻 町	5	2		3	165	20,680
福 寿 町	2			2		82
江 吉 良 町	1	1			627	85,012
舟 橋 町	-					
堀 津 町	6	2		4		6,301
上 中 町	-					
下 中 町	2		1	1		1,105
桑 原 町	2	1		1		120

月別火災原因状況

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火災件数	28	2	3	3	5	5	2	-	1	2	1	3	1
たき火	4		1		1					1		1	
たばこ	3			1	1				1				
火入れ	3	1									1	1	
放火(疑い)	2			1				1					
ストーブ	2		1		1								
その他	10		1	1	2	5							1
不明	4	1					1			1		1	



年別火災状況

年	火災件数					損害額(千円)				
	計	建物	車両	船舶	その他	計	建物	車両	船舶	その他
S44	24	10	3		11	1,739	1,542	172		25
S45	39	25	3		11	26,898	26,733	143		22
S46	44	15	1		28	1,324	1,273	5		46
S47	44	20	1		23	28,558	28,490	5		63
S48	78	28	4		46	25,642	25,200	235		207
S49	74	22	2		50	24,602	24,453	34		115
S50	60	18	2		40	16,053	16,021	11		21
S51	48	25	3		20	35,237	34,992	155		90
S52	56	25	2		29	1,538,722	1,538,656	11		55
S53	64	17	1		46	48,268	47,679	450		139
S54	62	25	4		33	52,781	45,910	6,511		360
S55	42	20	5		17	157,932	146,241	11,688		3
S56	50	27	3		20	72,052	71,851	198		3
S57	50	22	2		26	73,273	73,138	10		125
S58	40	23	2		15	42,143	40,858	8		1,277
S59	39	21	6		12	48,077	47,290	364		423
S60	27	18	3		6	21,512	20,264	1,244		4
S61	43	29	4		10	65,064	64,886	163		15
S62	25	17	1		7	578,547	577,569	506		472
S63	19	15	2		2	21,480	21,242	153		85
H1	22	17	3		2	69,715	31,265	38,430		20
H2	33	27	4		2	52,971	52,404	555		12
H3	19	13	2		4	17,637	16,896	160		581
H4	40	19	9		12	46,949	43,591	2,322		1,036
H5	77	44	6	1	26	326,747	314,076	12,311	15	345
H6	47	25	1		21	41,882	41,071	795		16
H7	48	19	8		21	85,547	83,106	984		1,457
H8	52	28	4		20	1,114,331	1,111,431	994		1,906
H9	40	16	7		17	46,043	45,354	522		167
H10	23	10	3		10	111,329	57,273	47,556		6,500
H11	36	11	7		18	30,924	25,902	4,761		261
H12	36	19	4		13	83,274	71,792	6,369		5,113
H13	51	19	10		22	66,383	62,417	3,633		333
H14	36	18	1		17	621,267	617,713	3,541		13
H15	34	14	10		10	72,943	58,118	9,817		5,008
H16	32	20	6		6	45,329	44,299	781		249
H17	39	19	3		17	17,854	17,324	393		137
H18	42	20	4		18	119,949	117,756	1,735		458
H19	46	22	4		20	21,673	19,969	1,607		97
H20	38	20	4		14	63,211	61,636	635		940
H21	26	13	2		11	30,587	30,465	91		31
H22	33	21	5		7	42,948	42,282	582		84
H23	29	13	5		11	78,154	76,603	591		960
H24	31	17	3		11	50,728	42,265	8,358		105
H25	36	16	2		18	25,225	22,684	180		2,361
H26	45	21	3		21	901,977	883,297	17,770		910
H27	36	18	4		14	97,669	95,255	1,833		581
H28	30	19	4		7	59,189	58,218	865		106
H29	28	14	4		10	26,832	25,789	890		153
H30	29	7	3		19	37,077	36,241	501		335
R1	21	11	2		8	60,927	59,588	860		479
R2	29	14	2		13	90,844	87,427	2,767		650
R3	23	15	4		4	66,192	63,100	1,717		1,375
R4	28	8	2		18	1,236,184	1,234,751	1,341		92

年別火災最大被害状況

年	発生場所	焼損床面積(㎡)	損害額(千円)	年	発生場所	焼損床面積(㎡)	損害額(千円)
S31	正木町	420	8,500	H2	正木町	119	10,264
S32	江吉良町	264	34,000	H3	竹鼻町	54	9,256
S33	江吉良町	122	500	H4	桑原町	239	16,170
S34	足近町	423	1,000	H5	上中町	550	97,270
S35	竹鼻町	89	3,250	H6	竹鼻町	114	9,844
S36	足近町	532	650	H7	竹鼻町	731	42,729
S37	竹鼻町	731	14,580	H8	竹鼻町	2729	1,018,667
S38	竹鼻町	315	4,500	H9	正木町	251	40,332
S39	小熊町	134	2,400	H10	竹鼻町	190	25,527
S40	上中町	334	5,000	H11	足近町	85	11,846
S41	竹鼻町	275	4,300	H12	足近町	136	19,625
S42	小熊町	356	1,972	H13	足近町	194	19,925
S43	正木町	417	8,310	H14	桑原町	3,117	582,870
S44	江吉良町	550	779	H15	竹鼻町	103	14,252
S45	小熊町	300	6,086	H16	竹鼻町	156	16,190
S46	竹鼻町	—	480	H17	竹鼻町	39	8,225
S47	江吉良町	449	24,197	H18	小熊町	412	59,328
S48	下中町	186	4,715	H19	福寿町	101	5,410
S49	正木町	159	7,490	H20	小熊町	193	26,733
S50	堀津町	329	5,000	H21	小熊町	193	20,310
S51	正木町	214	10,000	H22	竹鼻町	213	19,665
S52	福寿町	7,554	1,505,160	H23	竹鼻町	991	62,778
S53	堀津町	279	26,413	H24	竹鼻町	120	14,686
S54	足近町	576	18,987	H25	竹鼻町	198	15,102
S55	江吉良町	157	78,899	H26	桑原町	2,548	408,421
S56	竹鼻町	827	46,002	H27	正木町	374	29,931
S57	福寿町	575	49,136	H28	正木町	163	20,219
S58	福寿町	202	1,722	H29	江吉良町	403	13,830
S59	竹鼻町	161	10,763	H30	足近町	234	26,711
S60	竹鼻町	138	8,657	R1	正木町	1,432	58,413
S61	竹鼻町	202	23,815	R2	竹鼻町	1,400	41,931
S62	正木町	4,400	454,492	R3	福寿町	752	42,011
S63	竹鼻町	85	12,106	R4	正木町	4,641	1,122,670
H1	下中町	—	38,352				

過去10年間の火災による死傷者状況

年	発生場所	死者		負傷者				
		消防 吏員	その他	消防 吏員	消防 団員	り 災 家 内 者	応 援 者	その 他
平成25年	正木町		1					
	小熊町					1		
	堀津町		1					
	竹鼻町		1					
平成26年	竹鼻町		1			1		
	正木町					1		
	舟橋町					1		
	正木町					1		
平成27年	福寿町		1			1		
	竹鼻町					1		
	小熊町					1		
平成28年	正木町		1			1		
	竹鼻町					2		
平成29年	正木町					1		
	江吉良町					1		
平成30年	下中町					1		
	小熊町		1					
	竹鼻町		1					
令和元年	堀津町							1
令和2年	小熊町					1		
	正木町		1					
	堀津町					1		
	竹鼻町			1				
令和3年	福寿町			1				
	堀津町		1					
	正木町		1					
	上中町							1
	竹鼻町					1		
令和4年	江吉良町					2		
	正木町					1		
	竹鼻町		1					

救急統計



多数傷病者対応訓練

救急活動の概要

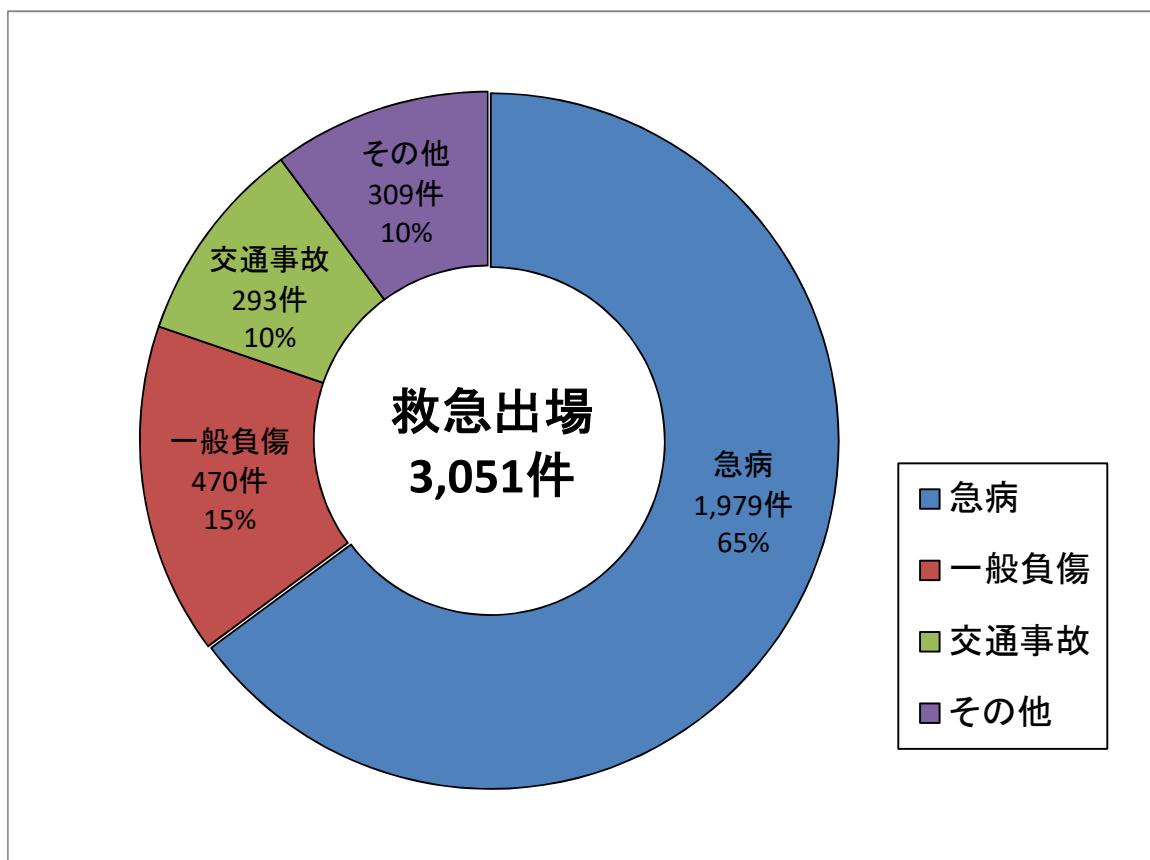
令和4年中における救急出場件数は3,051件、搬送人員は2,927人で、前年と比較すると出場件数が415件(15.7%)、搬送人員は2,927人(16.7%)増加しました。

出場件数は1日に平均8.4件です。出場件数を事故種別でみると、急病が1,979件(65%)、一般負傷が470件(15%)、交通事故が293件(10%)と上位を占めています。

事故種別救急出場件数・搬送人員

区分	計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	搬送人員
令和4年(A)	3,051	2	-	5	293	15	8	470	11	27	1,979	241	2,927
令和3年(B)	2,636	3	-	4	249	25	4	439	4	30	1,723	155	2,508
増減(A)-(B) (C)	415	△1	-	1	44	△10	4	31	7	△3	256	86	419
増減率(%) (C)÷(B)×100	15.7	△33.3	-	25.0	17.7	△40.0	100.0	7.1	175.0	△10.0	14.9	55.5	16.7

事故種別救急出場件数



月別救急出場件数

区分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	3,051	268	238	228	228	244	298	233	292	236	250	243	293
火 災	2	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
自然災害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水難事故	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-
交通事故	293	27	15	23	25	18	48	26	36	26	22	14	13
労働災害	15	3	1	2	1	1	-	-	4	2	-	1	-
運動競技	8	1	-	-	-	-	2	1	1	1	2	-	-
一般負傷	470	52	39	30	34	41	46	22	37	33	53	35	48
加 害	11	1	1	1	1	1	1	-	1	1	2	-	1
自損行為	27	5	1	1	4	1	1	2	5	1	-	2	4
急 病	1,979	164	158	155	145	167	186	159	173	154	157	165	196
そ の 他	241	15	23	15	18	15	13	23	35	17	10	26	31

曜日別救急出場件数

区分	計	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	3,051	403	459	474	414	445	461	395
1 月	268	30	43	40	33	32	44	46
2 月	238	29	41	36	22	35	39	36
3 月	228	26	28	44	35	37	20	38
4 月	228	23	34	40	30	30	46	25
5 月	244	40	40	45	22	37	36	24
6 月	298	37	44	45	53	61	35	23
7 月	233	53	25	35	31	28	33	28
8 月	292	36	50	45	53	40	45	23
9 月	236	25	32	32	31	44	36	36
1 0 月	250	44	47	31	32	28	30	38
1 1 月	243	27	39	40	36	29	40	32
1 2 月	293	33	36	41	36	44	57	46

時間別救急出場件数

区分	計	0時	2時	4時	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	20時	22時
		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
		2時	4時	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	20時	22時	24時
	3,051	115	88	112	211	412	392	339	330	328	309	237	178
1月	268	9	10	10	25	34	29	31	25	26	30	22	17
2月	238	2	6	14	18	29	30	27	28	25	27	17	15
3月	228	13	7	6	15	28	41	22	24	22	12	26	12
4月	228	8	10	8	16	31	36	26	23	24	20	18	8
5月	244	8	6	12	20	32	34	31	26	17	29	14	15
6月	298	11	9	18	25	43	31	31	25	36	21	28	20
7月	233	5	3	8	19	32	29	25	26	24	27	17	18
8月	292	17	13	4	11	34	42	37	34	22	37	20	21
9月	236	8	2	14	14	35	17	26	34	27	24	20	15
10月	250	9	5	9	15	33	40	20	20	36	31	20	12
11月	243	6	9	1	18	35	30	22	27	38	28	17	12
12月	293	19	8	8	15	46	33	41	38	31	23	18	13

高速道路救急出場件数

区分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		22	-	-	-	1	2	10	-	2	7	-	-
交通事故	20	-	-	-	-	2	9	-	2	7	-	-	-
急 病	2	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

管轄別救急出場件数

区分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	3,051	268	238	228	228	244	298	233	292	236	250	243	293
本署	1,473	128	122	119	114	112	145	114	141	106	112	122	138
北分署	879	87	74	49	52	73	88	69	82	72	76	72	85
南分署	699	53	42	60	62	59	65	50	69	58	62	49	70

区域別救急出場件数

区分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	3,051	268	238	228	228	244	298	233	292	236	250	243	293
足近町	185	20	16	14	11	12	16	16	16	20	16	17	11
小熊町	205	16	20	12	18	14	24	15	18	11	17	20	20
新生町	85	7	10	9	7	9	8	9	7	4	3	5	7
正木町	638	66	52	36	39	48	65	49	66	49	55	45	68
竹鼻町	621	53	60	45	52	36	54	49	50	47	62	55	58
福寿町	349	40	22	30	28	34	33	21	32	24	22	28	35
江吉良町	164	17	14	11	12	12	12	16	17	15	9	16	13
舟橋町	118	6	9	13	8	9	16	10	11	4	8	8	16
堀津町	128	6	6	9	9	10	10	10	17	13	14	8	16
上中町	189	11	14	12	11	24	19	11	19	14	16	18	20
下中町	159	11	6	18	13	15	15	15	14	11	16	12	13
桑原町	188	15	9	19	19	20	16	11	23	18	12	10	16
市外	22	-	-	-	1	1	10	1	2	6	-	1	-

5年間の救急状況

区分		計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
平成30年	出場件数	2,691	1	-	6	319	30	5	412	5	18	1,748	147
	(内 不搬送)	(155)	-	-	3	22	1	1	11	-	9	96	12
	搬送人員	2,607	1	-	3	365	29	4	401	5	9	1,655	135
令和元年	出場件数	2,724	-	-	2	298	31	14	347	7	28	1,855	142
	(内 不搬送)	(153)	-	-	2	22	-	-	10	2	11	84	22
	搬送人員	2,617	-	-	-	320	31	14	340	5	17	1,772	118
令和2年	出場件数	2,314	3	-	5	274	27	3	368	10	22	1,496	106
	(内 不搬送)	(155)	1	-	5	19	-	-	19	2	5	97	7
	搬送人員	2,194	2	-	-	287	28	3	350	8	17	1,400	99
令和3年	出場件数	2,636	3	-	4	249	25	4	439	4	30	1,723	155
	(内 不搬送)	(149)	-	-	3	25	-	-	18	1	4	90	8
	搬送人員	2,508	4	-	1	243	25	4	421	3	26	1,634	147
令和4年	出場件数	3,051	2	-	5	293	15	8	470	11	27	1,979	241
	(内 不搬送)	(155)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	搬送人員	2,927	1	-	2	290	14	8	450	12	25	1,892	233

救命講習受講状況

年	平成30年			令和元年			令和2年			令和3年			令和4年			過去5年間の合計		
	普及等	上普通	ジュニア門	普及等	上普通	ジュニア門	普及等	上普通	ジュニア門	普及等	上普通	ジュニア門	普及等	上普通	ジュニア門	普及等	上普通	ジュニア門
講習回数	2	18	61	3	16	64	-	2	3	-	-	-	5	2	36	10	38	164
受講人数	5	457	2,038	26	294	1,850	-	39	56	-	-	-	34	27	721	65	817	4,665

普及等…応急救手当普及員講習Ⅰ、応急救手当普及員(指導員)再講習

普通・上級…普通救命講習(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)、上級救命講習

入門・ジュニア…救命入門コース(平成25年度より開始)、ジュニア救命講習(平成27年度より開始)

救助統計



救助総合訓練 移動式街区訓練施設(消防学校)

救助活動概要

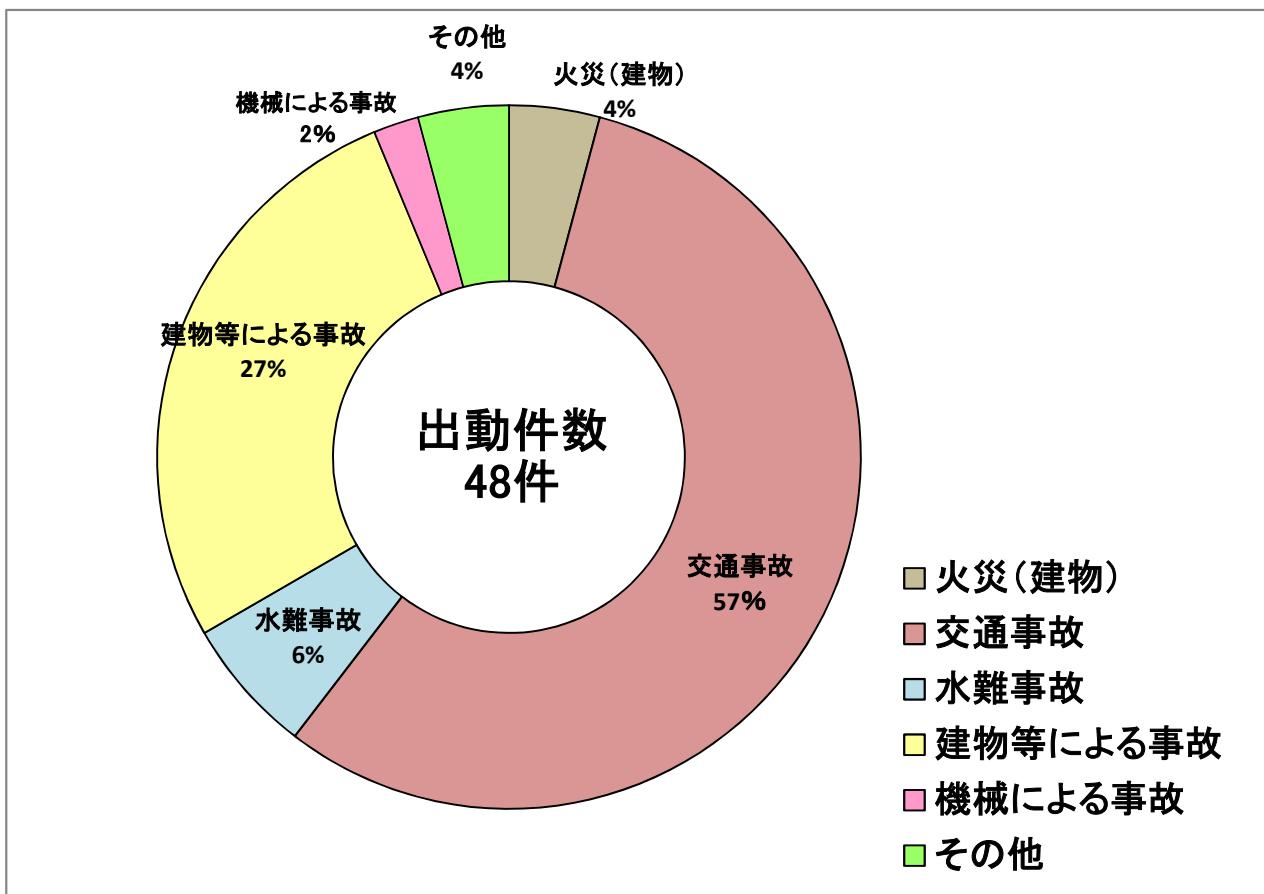
令和4年中における救助出動件数は48件、救助人数は32人でした。前年と比較すると出動件数は10件増加、救助人数は13人増加しました。

出動件数を事故種別でみると、火災(建物)は2件、交通事故は27件、水難事故3件などとなっていま
す。

救 助 件 数 等 状 況

区分	計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
		建 物	建 物 以 外								
出 動 件 数	48	2		27	3		1	13			2
活 動 件 数	31	2		16	2			10			1
救 助 人 数	32	2		17	2			10			1

事故種別救助出動件数の割合



事故種別発生場所別活動件数

区分		計	火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故
			建物	建物以外								
		31	2		16	2			10			1
屋内	住居	12	2						10			
	その他の屋内	-										
屋外	道路	高速自動車国道	2			2						
	路	その他の道路	13			12						1
	水面	内水面	2				2					
	面	外水面	-									
		その他の屋外	2			2						

事故種別発生場所別救助人数

区分		計	火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故
			建物	建物以外								
		32	2		17	2			10			1
屋内	住居	12	2						10			
	その他の屋内	-										
屋外	道路	高速自動車国道	2			2						
	路	その他の道路	14			13						1
	水面	内水面	2				2					
	面	外水面	-									
		その他の屋外	2			2						

区域別出動件数

区分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	48	5	4	2	7	3	6	3	1	7	5	3	2
足近町	4						1				2	1	
小熊町	6	1	2					1		1	1		
新生町	-												
正木町	8	2		1	1	1	2						1
竹鼻町	10			1	3	2	1	1		1	1		
福寿町	9	2	1		1			1		2	1	1	
江吉良町	2		1						1				
舟橋町	-												
堀津町	2				1								1
上中町	2				1		1						
下中町	1												1
桑原町	-												
市 外	4						1			3			

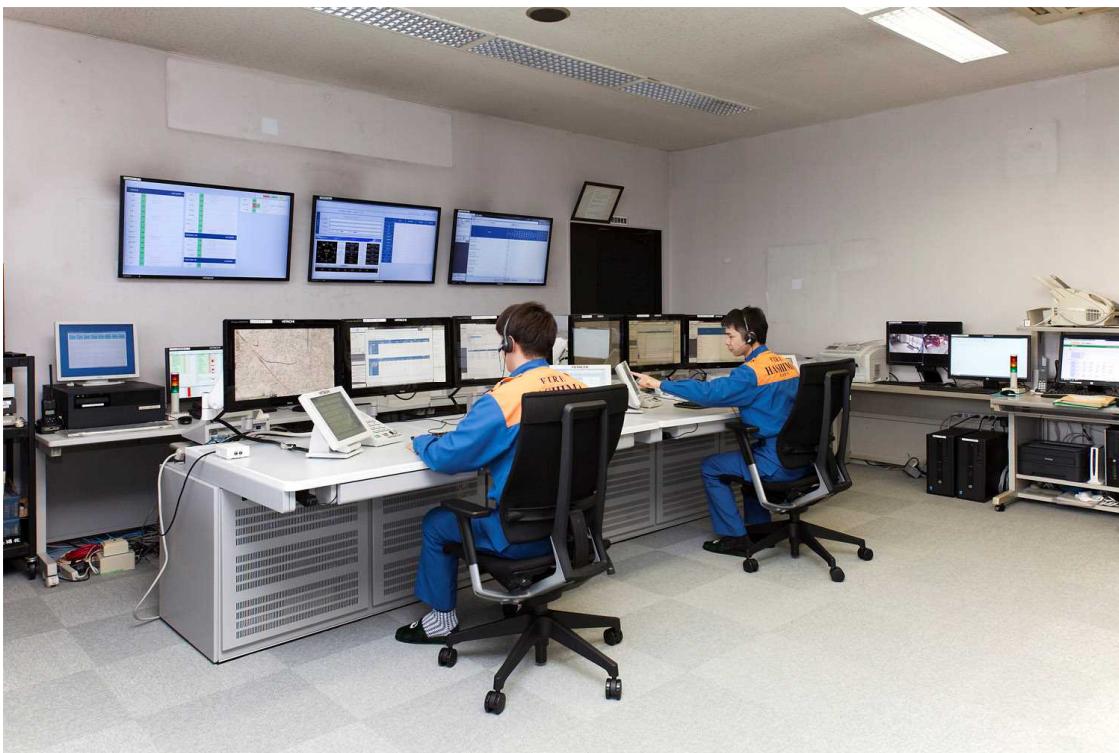
5年間の救助状況

区分	計	火災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	その 他の 事 故
		建 物	建 物 以 外								
平成 30 年	出動件数	39		24	4	3	1	2			5
	活動件数	18		10	3		1	1			3
	救助人数	17		10	2		1	1			3
令和 元 年	出動件数	29		20	1		1	1			6
	活動件数	16		10	1		1	1			3
	救助人数	17		11	1		1	1			3
令和 2 年	出動件数	46	1	21	5		2	11			6
	活動件数	25	1	9	5		1	6			3
	救助人数	23		9	4		1	6			3
令和 3 年	出動件数	38	2	17	4			13	1		1
	活動件数	20	2	8	1			8	1		
	救助人数	19	2	9				7	1		
令和 4 年	出動件数	48	2	27	3		1	13			2
	活動件数	31	2	16	2			10			1
	救助人数	32	2	17	2			10			1

救助活動のための機械器具等保有状況

一般用救助用器具	かぎ付はしご	1	破壊用器具	万能斧	17
	三連はしご	6		ハンマー	6
	空気式救助マット	1		携帯用コンクリート破壊器具	1
	救命索発射銃	1		削岩機	1
	サバイバースリング又は救助用縛帶	8		ハンマドリル	1
	平担架	1		複合ガス検知器	3
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	1	測定具用呼吸保護用器具	放射線測定器	11
	可搬ワインチ	2		空気呼吸器	25
	マンホール救助器具一式	1		防塵マスク	21
	救助用簡易起重機	1		送排風機	1
	チェーンブロック	1		耐電手袋	5
	マット型空気ジャッキー式	1		耐電衣	2
	大型油圧スプレッダー	1		耐電ズボン	2
	大型油圧ラムシリンダー	1		耐電長靴	2
切断用器具	エンジンカッター	4	隊員保護用器具	簡易式化学防護服	6
	チェーンソー	1		簡易画像探査機	1
	鉄線カッター	6		投光器	7
	空気鋸	1		携帯投光器	18
	ガス溶断器	1		携帯拡声器	14
	大型油圧カッター	1		応急処置用セット	5
	空気切断機	1		緩降機	1
水難救助用器具	救命ボート	4	その他の救助用器具	発電機	8
	船外機	4		熱画像直視装置	1
	水中無線機一式	1		都市型救助資器材セット	1
	潜水器具	8		ハーフSKEDストレッチャー	4
	救命胴衣	42		SKEDストレッチャー	1
	水中投光器	6		バスケット型担架	1
	救命浮環	5		バーティカル担架	1
山岳救助用器具			高度救助用器具		

通信・気象



高機能消防指令システム

(平成 28 年 3 月 16 日運用開始)

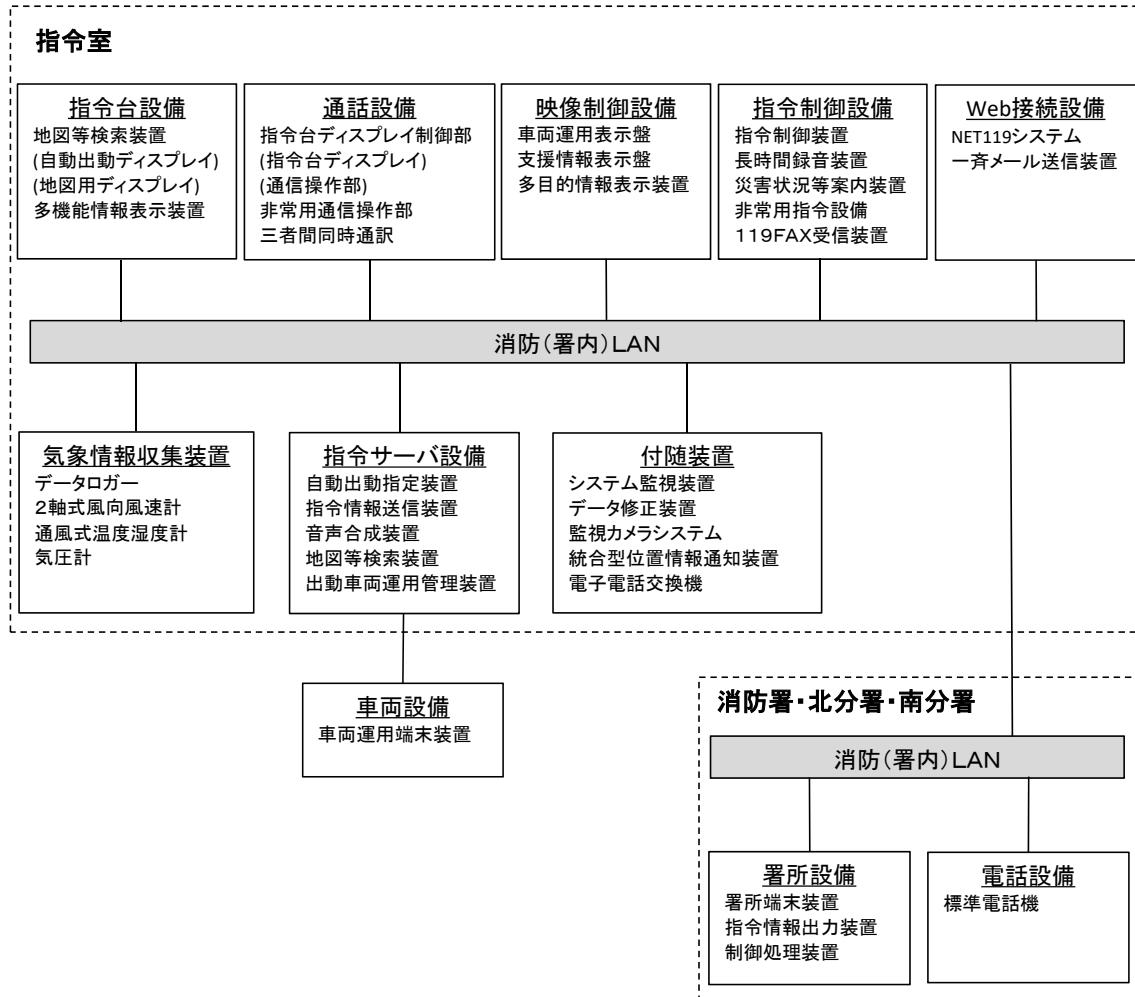
通信指令施設

通信指令施設は、迅速・確実な情報収集や災害活動を支援する消防業務の中核的な役割を果たしています。

通信回線は、市民からの119番通報・救急・災害医療情報システムによる情報収集、デジタル無線等による災害情報伝達や携帯電話などで構成されています。

また、令和元年6月28日に三者間同時通訳の運用を開始し、日本語が話せない方からの119番通報において21言語が対応可能で、24時間365日迅速かつ的確に業務を行っています。

消防緊急通信指令施設のシステム構成



無線設備の現況

	基地局		陸上移動局						受令機	
	デジタル		デジタル				アナログ		デジタル	
	活動波 主運用波	統制波	車載用	可搬用	携帯用	指令台用	車載用	携帯用	車載用	携帯用
定格出力(W)	5	3.2	10	10	5	5	10	5	/	/
局 数	1		21	3	23	2	4	2	23	176

通信設備の現況

種別	計	本部・消防署	北分署	南分署
119番専用回線(固定・IP)	4	4		
119番専用回線(携帯電話)	4	4		
119番専用回線(衛星回線)	1	1		
中日本高速道路株専用回線	1	1		
加入電話回線	5	3	1	1
発信専用回線	3	3		
指令台発信専用回線 (順次指令・第三者間同時通訳・連絡用)	2	2		
消防救急無線モニタ用回線	1	1		
広域イーサネット (指令・庁内電話・放送用)	3	1	1	1
庁内電話機	45	29	9	7
FAX専用回線	3	1	1	1
携帯電話	7	5	1	1
衛星携帯電話	1	1		
災害情報案内	2	2		
羽島市役所専用回線	1	1		
羽島市防災行政無線	1	1		
岐阜県防災情報通信システム	1	1		
NET119システム	1	1		
救急災害医療情報システム	1	1		
MCA無線	2	2		

※INS及び光回線はチャンネル数。

119番通報件数

区分		計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		3,244	241	249	246	253	295	303	251	308	260	265	264	309
火災	合計	67	5	6	4	18	9	5	1	3	7	3	5	1
	NTT固定電話	22	2			12	2	1		3		1	1	
	IP電話等	5			2		2						1	
	携帯電話・PHS	40	3	6	2	6	5	4	1		7	2	3	1
救急	合計	2,868	214	223	223	212	237	274	223	285	225	237	230	285
	NTT固定電話	403	35	36	41	33	28	28	30	38	29	35	33	37
	IP電話等	871	45	54	68	70	73	97	64	88	59	68	82	103
	携帯電話・PHS	1,594	134	133	114	109	136	149	129	159	137	134	115	145
救助	合計	42	4	4	1	7	3	3	3	1	5	7	3	1
	NTT固定電話	—												
	IP電話等	4				4								
	携帯電話・PHS	38	4	4	1	3	3	3	3	1	5	7	3	1
回線別災害等通報件数	合計	39	3	1	1	3	4	2	3	3	8	4	4	3
	NTT固定電話	4	1				1		1			1		
	IP電話等	2						1	1					
	携帯電話・PHS	33	2	1	1	3	3	1	1	3	8	3	4	3
いたずら	合計	7	1	—	1	—	2	2	—	—	—	1	—	—
	NTT固定電話	1						1						
	IP電話等	—												
	携帯電話・PHS	6	1		1		2	1				1		
間違い	合計	221	14	15	16	13	40	17	21	16	15	13	22	19
	NTT固定電話	56	5		3	2	26	2	3	2		1	7	5
	IP電話等	23	2	1	2	2	1	3	1	4	2	1	3	1
	携帯電話・PHS	142	7	14	11	9	13	12	17	10	13	11	12	13
その他	合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	NTT固定電話	—												
	IP電話等	—												
	携帯電話・PHS	—												

救急医療情報活用状況

区分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	316	29	18	16	21	26	18	33	41	30	31	31	22
内 科	73	11	4	3	7	2	3	11	14	7	3	6	2
小 儿 科	131	11	4	8	4	15	3	14	17	11	15	14	15
外 科	36	2	5		4		7	1	2	2	6	5	2
整 形 外 科	22	2	2	1	2	3	1	1	2		6	2	
産 婦 人 科	1	1											
眼 科	8	1	1	2		1		1	1	1			
耳 鼻 咽 喉 科	8					2	1		2	2		1	
皮 膚 科	8				1		3	1		1		2	
泌 尿 器 科	5		1	1						2		1	
脳 神 経 外 科	12				3	2		1		2	1		3
呼 吸 器 科	-												
呼吸器外科	-												
消 化 器 科	3							1	2				
循 環 器 科	3			1				1		1			
心 臓 外 科	-												
そ の 他	6	1	1			1		1	1	1			

月別気象状況

区分	年間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均風速 (m/s)	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8	2.5	2.5	2.3	2.2	2.6	1.9	2.0	2.5
瞬間最大 風速(m/s)	23.6	22.0	20.6	17.4	18.5	17.8	17.2	16.8	23.6	21.5	13.5	14.8	20.8
湿度 (%)	平均	74.7	74.8	76.9	68.1	69.7	66.8	75.3	80.0	80.2	79.0	73.4	75.3
	最低	11.9	32.7	29.9	19.9	11.9	14.7	20.2	31.1	38.8	42.7	24.9	24.7
気温 (°C)	平均	16.3	3.7	3.7	10.0	16.1	18.9	24.0	27.3	28.0	25.6	17.8	14.1
	最高	37.7	13.9	14.3	21.3	28.4	32.5	37.4	37.7	37.2	34.9	30.0	23.2
	最低	-2.8	-2.8	-2.6	0.9	3.2	8.3	15.2	21.6	20.1	16.9	7.0	6.4
													-1.7

消防団



消防出初式における一斉放水

消防団の現況

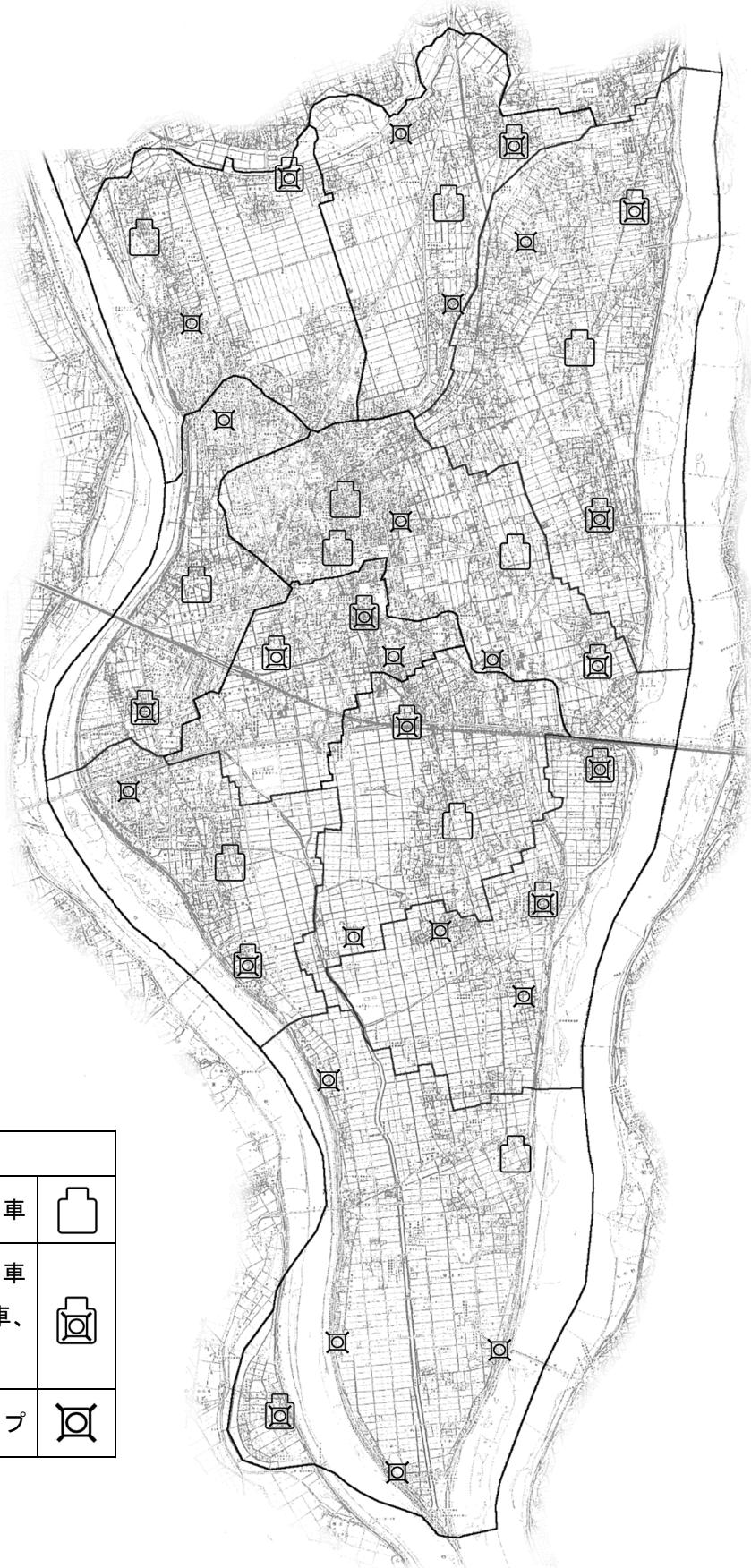
消防団は、地域を守る使命に基づき18歳以上の志操堅固で身体強健な者によって組織されています。災害が大規模化・複雑化する今日、地域に密着した消防団の特性を生かし、火災や地震等の災害出動はもとより、消防訓練や防火広報を実施し、地域防災の中核的存在として安全な地域づくりに貢献しています。

消防団現勢

区分	人員		機械				
	定員	現在員	計	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付普通積載車	小型動力ポンプ付軽積載車	小型動力ポンプ
計	420	400	39	10	3	10	16
団本部	65	45	-				
足近分団	30	30	4	1		1	2
小熊分団	30	30	3	1		1	1
正木分団	37	37	4	1	※ 1	1	1
竹鼻第一分団	31	31	2	2			
竹鼻第二分団	32	32	4	1		1	2
福寿分団	30	30	3	1		1	1
江吉良分団	30	30	3		1	1	1
堀津分団	30	30	3	1		1	1
上中分団	30	30	3	1		1	1
下中分団	30	30	4		1	1	2
桑原分団	45	45	6	1		1	4

※災害対応資機材搭載小型動力ポンプ積載車(以下「多機能車」という。)を含む。

消防団ポンプ等の配置図



消防団車両一覧表

区分	年式	登録番号	車名	型式 ポンプ級別	ポンプ 製作所名	経過 年数
足近分団	消防ポンプ自動車	2000 岐阜800さ 2444	いすゞ	CD-I・A2級	日本機械	22
"	小型動力ポンプ付軽積載車	2018 岐阜880あ 2105	ダイハツ	B2級	トーハツ	4
"	小型動力ポンプ	1987		B3級	トーハツ	35
"	小型動力ポンプ	1994		B3級	トーハツ	28
小熊分団	消防ポンプ自動車	2000 岐阜800さ 4814	三菱	CD-I・A2級	日本ドライケミカル	22
"	小型動力ポンプ付軽積載車	2014 岐阜880あ 1366	ダイハツ	B2級	シバウラ	8
"	小型動力ポンプ	1989		B2級	ラビット	33
正木分団	消防ポンプ自動車	2020 岐阜800そ 4167	日野	CD-I・A2級	森田ポンプ	2
"	小型動力ポンプ付軽積載車	2010 岐阜880あ 762	スバル	B3級	ラビット	12
"	多機能車	2010 岐阜800せ 2407	いすゞ	B2級	トーハツ	12
"	小型動力ポンプ	1992		B2級	トーハツ	30
竹鼻第一分団	消防ポンプ自動車	2002 岐阜800さ 8723	三菱	CD-I・A2級	日本機械	20
"	消防ポンプ自動車	2003 岐阜800す 819	日野	CD-I・A2級	日本機械	19
竹鼻第二分団	消防ポンプ自動車	2017 岐阜800そ 126	日野	CD-I・A2級	森田ポンプ	5
"	小型動力ポンプ付軽積載車	2014 岐阜880あ 1365	ダイハツ	B2級	シバウラ	8
"	小型動力ポンプ	1994		B3級	トーハツ	28
"	小型動力ポンプ	1987		B3級	トーハツ	35
福寿分団	消防ポンプ自動車	2003 岐阜800す 820	日野	CD-I・A2級	日本機械	19
"	小型動力ポンプ付軽積載車	2013 岐阜880あ 1207	ダイハツ	B2級	トーハツ	9
"	小型動力ポンプ	1989		B2級	ラビット	33
江吉良分団	小型動力ポンプ付普通積載車	2018 岐阜800そ 2037	ニッサン	B2級	トーハツ	4
"	小型動力ポンプ付軽積載車	2018 岐阜880あ 2106	ダイハツ	B2級	トーハツ	4
"	小型動力ポンプ	1985		B3級	トーハツ	37
堀津分団	消防ポンプ自動車	2002 岐阜800さ 8724	三菱	CD-I・A2級	日本機械	20
"	小型動力ポンプ付軽積載車	2019 岐阜880あ 2238	スズキ	B2級	シバウラ	3
"	小型動力ポンプ	1991		B3級	トーハツ	31
上中分団	消防ポンプ自動車	2001 岐阜800さ 6982	トヨタ	CD-I・A2級	長野ポンプ	21
"	小型動力ポンプ付軽積載車	2013 岐阜880あ 1215	スズキ	B2級	シバウラ	9
"	小型動力ポンプ	1987		B3級	トーハツ	35
下中分団	小型動力ポンプ付普通積載車	2019 岐阜880そ 3150	ニッサン	B2級	シバウラ	3
"	小型動力ポンプ付軽積載車	2019 岐阜880あ 2237	スズキ	B2級	シバウラ	3
"	小型動力ポンプ	1989		B2級	ラビット	33
"	小型動力ポンプ	1989		B2級	ラビット	33
桑原分団	消防ポンプ自動車	2017 岐阜880せ 9997	日野	CD-I・A2級	森田ポンプ	5
"	小型動力ポンプ付軽積載車	2010 岐阜880あ 763	スバル	B3級	ラビット	12
"	小型動力ポンプ	1982		B3級	ラビット	40
"	小型動力ポンプ	1983		B3級	ラビット	39
"	小型動力ポンプ	1993		B4級	ラビット	29
"	小型動力ポンプ	1994		B3級	トーハツ	28

年齢別消防団員数

区分	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
現在員	400	1	4	16	11	22	39	307
19才	1							1
20才	1							1
22才	2							2
23才	2							2
24才	7						1	6
25才	3							3
26才	1							1
27才	2							2
28才	2							2
30才	4							4
31才	3						1	2
32才	4							4
33才	10						1	9
34才	9							9
35才	10						2	8
36才	8						1	7
37才	10			1			1	8
38才	18					1	2	15
39才	22				1	1	2	18
40才	21						1	20
41才	20					1	3	16
42才	21						1	20
43才	26					3	4	19
44才	29				1	2	7	19
45才	20			1		2	4	13
46才	18			1	1	1	1	14
47才	12			1	1	2	2	6
48才	24			3	2	1	2	16
49才	17			1	3	1	1	11
50才	9			1		1		7
51才	19		1	2		2		14
52才	8			1	2	1		4
53才	7			1			2	4
54才	4					1		3
55才	5							5
56才	3		1			1		1
57才	1							1
58才	3		1			1		1
59才	6		1					5
60才	1							1
61才	3	1		1				1
62才	2			2				
63才	1							1
66才	1							1
平均年齢	43.0	61.0	56.0	50.6	47.5	47.0	42.1	42.0

在職年数別消防団員数

区分	計	5年未満	5年以上	10年以上	15年以上	20年以上	25年以上	30年以上
			10年未満	15年未満	20年未満	25年未満	30年未満	
現在員	400	233	113	28	15	5	4	2
団本部	45	24	11	3	2	1	2	2
足近分団	30	22	5		3			
小熊分団	30	19	7	3	1			
正木分団	37	20	14	3				
竹鼻第一分団	31	15	6	5	1	3	1	
竹鼻第二分団	32	20	10	1	1			
福寿分団	30	14	13	2	1			
江吉良分団	30	22	6	2				
堀津分団	30	22	7	1				
上中分団	30	17	13					
下中分団	30	22	5	3				
桑原分団	45	16	16	5	6	1	1	

消防団員報酬

区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
年報酬額	82,500円	69,000円	50,500円	45,500円	37,000円	37,000円	36,500円

消防団員費用弁償

区分	火災等	訓練等	警戒
支給額	2時間毎2,000円 (2時間未満は、 2時間とみなす。)	1回 1,200円	1回 1,200円

消防団員退職報償金

(単位:千円)

階級	勤務年数					
	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
団長	239	344	459	594	779	979
副団長	229	329	429	534	709	909
分団長	219	318	413	513	659	849
副分団長	214	303	388	478	624	809
部長及び班長	204	283	358	438	564	734
団員	200	264	334	409	519	689

消防団員の職業別調

区分		計	団本部	足近分団	小熊分団	正木分団	竹鼻第一分団	竹鼻第二分団	福寿分団	江吉良分団	堀津分団	上中分団	下中分団	桑原分団
職業種別	公務員	国家公務員	2			1			1					
	地方公務員	29	16	2	1	1	1	1		1	1	3	1	1
	その他	369	29	28	29	35	30	31	29	29	29	27	29	44
	合計	400	45	30	30	37	31	32	30	30	30	30	30	45

就業形態 団員 計	被用者	自営業者	家族従事者	その他	
				400	341

消防団員の入・退団の推移

区分	定員	実員	入団	退団
平成28年	420	407	89	79
平成29年	420	396	81	92
平成30年	420	392	80	84
令和元年	420	393	66	65
令和2年	420	394	76	75
令和3年	420	397	51	48
令和4年	420	400	59	56

消防団員公務災害発生件数の推移

区分	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
平成28年	-							
平成29年	1							1
平成30年	2							2
令和元年	-							
令和2年	-							
令和3年	-							
令和4年	2						1	1

消防団員出動状況

項目	回数	延人員
合計	207	3,536
火災	7	279
風水害等の災害	-	-
訓練等	170	2,506
広報	-	-
火災予防啓発活動	-	-
警戒活動	5	311
会議	24	195
出初式	-	-
特別点検	1	245